



土木施工管理システム [エクストレンド武蔵]

---

はじめてみよう！ インデックス

本書は、EX-TREND 武蔵 インデックスに関する基本的な操作方法を以下の3つの章に分けて解説しています。初心者の方には「基本」からお読みになることをお勧めしますが、興味のある章からでもご利用いただけるようにできています。

(※解説がオプションプログラムの内容である場合があります。ご了承ください。)

# 本書について

基本

武蔵データ

その他



本書では、ナビちゃんがつぶやいています。

ナビちゃんのつぶやきに対しては、「002\_ナビちゃんをつぶやき(インデックス).pdf」を用意しています。

「002\_ナビちゃんをつぶやき(インデックス).pdf」は、「FcApp¥各種資料(土木)¥武蔵¥入門編」フォルダー内に格納されています。(※)

さらに詳細な説明をご覧になりたい場合は、各種資料をご覧ください。

各種資料は、Install DVD-ROMの[各種資料のインストール]を実行して、インストールしてください。インストールしていただくと、デスクトップの[土木各種資料] (または[ヘルプ]-[各種資料])から、各種資料の目次を開くことができます。



[PDF検索]をクリックすると、EX-TREND武蔵のPDFを検索することができます。

EX-TREND 武蔵 2015 各種資料目次

プログラム操作・資料 PDF検索

EX-TREND 武蔵 2015 PDF検索

インデックス・書類作成支援

施工計画書作成支援

工程管理・原価工程管理

建設CAD

3次元設計データ作成

写真・出来形・品質管理

電子納品ツール

CO2排出量計算

工事完成図CAD

ヘルプの使い方

入力専用ライセンス

バージョンアップ機能

バージョンアップガイド

セットアップ

セットアップ

その他

電子

▼入門編【印刷物】

No.	マニュアル名	概要	フォルダー
001	はじめてみよう！インデックス	EX-TREND武蔵 インデックスに関する基本的な操作方法を解説しています。 " 001_はじめてみよう！インデックス.pdf "	
002	ナビちゃんをつぶやき(インデックス)	上記「はじめてみよう！インデックス」の補足です。 (※印刷物はありません。PDFのみです。) " 002_ナビちゃんをつぶやき(インデックス).pdf "	フォルダーを開く
	サンプルデータ	上記マニュアル【印刷物】で使用するサンプルデータが、フォルダー内に格納されています。	フォルダーを開く

▼入門編【PDFのみ】

No.	マニュアル名	概要	フォルダー
100	Windows8.1からの起動方法	Windows8.1で EX-TREND武蔵 を起動する操作を解説します。 " 100_Windows81からの起動方法.pdf "	
110	データのバックアップ手順	EX-TREND武蔵2013、2014、2015の、工事データと設定のバックアップ手順を解説します。 " 110_データのバックアップ手順.pdf "	フォルダーを開く
111	入力専用ライセンスの使い方	入力専用ライセンスの ・起動方法 ・初期設定 ・機能 ・成果物の印刷や出力をおこなうにはを解説します。	

※土木各種資料から「ナビちゃんをつぶやき(インデックス)」を参照することもできます。

# 本書の使い方

本書は、下図のようなイメージで構成され、実際の手順を番号付きで説明しています。初心者の方でも、簡単に操作方法をマスターすることができます。

章のタイトル名 (ツメ) です。

節のタイトル名 (ツメ) です。

注意事項を記載しています。

操作の手順とその内容を記載しています。

手順に対する場面を示しています。

ページ番号です。

# 表記について

本書は、下記のような用語やマークを使用して、操作を解説しています。

用語	マーク	説明
クリック	✓	マウスの左ボタンを1回押す動作のことです。
ダブルクリック	✓✓	マウスの左ボタンをすばやく2回押す動作のことです。
ドラッグ&ドロップ		マウスのボタンを押しながらマウスを移動し、移動後にそのボタンを離す動作のことです。
マウスポインタ		マウス本体の動きに合わせて移動するディスプレイ上の白矢印のことです。場面によって変化します。
[ ]		メッセージや入力する値などを表します。
[ ]		メニュー・コマンド・ボタン・画面などの名前を表します。

# ご注意

- (1) 本ソフトウェアおよび本文の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本ソフトウェアおよび本文の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- (3) 本ソフトウェアを複数の機械で同時に使用する場合は、機械と同数の本ソフトウェアが必要です。
- (4) 本ソフトウェアの内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)の項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。
- (6) 弊社以外のソフトウェアに関するお問い合わせはご遠慮願います。
- (7) データのバックアップについて  
お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様御自身の管理・責任において、データは必ず定期的に2か所以上の別の媒体(HDD、CD、DVDなど)に保存してください。  
また、いかなる事由におきましても、データの破損により生じたお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。

- Microsoft、Windows、Windows Vista、SQL Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft (R) Windows (R) Operating System です。
- Windows Vista の正式名称は、Microsoft (R) Windows Vista (R) Operating System です。
- UNLHA32.DLL は、Micco 氏のフリーソフトウェアです。
- 7-Zip  
Copyright (C) 1999-2011 Igor Pavlov.
- LEADTOOLS  
Copyright (C) 1991-2009 LEAD Technologies, Inc.
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- LaLaVoice (TM) は、株式会社東芝の商標です。
- 東芝製音声合成及び音声認識ソフトウェアの著作権は、全て株式会社東芝に帰属します。
- Antenna House PDF Driver  
Copyright (C) 2004- Antenna House, Inc.
- ImageKit7  
Copyright (C) 2005 Newtone Corp.
- InstallShield2013  
Copyright (C) 2013 Flexera Software LLC. Flexera Software および InstallShield は、Flexera Software LLC の商標です。その他すべてのブランドおよび製品名は、各社の登録商標または商標です。
- LandXML Software Developers Kit Version 1.1  
Copyright (C) 1999-2006 LandXML.org. All rights reserved.
- Apache License2.0  
Xerces is Copyright (C) 1999-2006 The Apache Software Foundation.
- 解説画面を含め、本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- BLUETREND、EX-TREND、EX-TREND武蔵およびEX-TREND MUSASHIは、福井コンピュータ株式会社の登録商標です。

## 基本

1. 起動	2
1-1 [インデックス]を起動する	2
1-2 [インデックス]の画面構成	4
2. 新規工事作成	5
2-1 新規に工事を作成する	5
3. 自社情報	11
3-1 自社情報を入力する	12
4. 資機材・組織・人材マスタ	13
4-1 資機材・組織・人材マスタを編集する	14
5. 工事情報	15
5-1 工事情報を入力する	15
6. 工事内容	17
6-1 工事内容を入力する	18

1. 施工計画書作成支援	22
1-1 [施工計画書作成支援]を起動する	22
2. 工程管理	23
2-1 新しい工程管理データを作成する	23
2-2 工程管理データを開く	23
3. 建設CAD	24
3-1 新しい建設CADデータを作成する	24
3-2 建設CADデータを開く	24
3-3 図面を開く	25
4. 出来形管理	26
4-1 新しい出来形管理データを作成する	26
4-2 出来形管理データを開く	26
5. 舗装出来形管理	27
5-1 新しい舗装出来形管理データを作成する	27
5-2 舗装出来形管理データを開く	27
6. 写真管理	28
6-1 [写真管理]を起動する	28
6-2 新しいアルバムを作成する	28
6-3 アルバム編集データを開く	29
7. アスファルト温度管理	30
7-1 新しいアスファルト温度管理データを作成する	30
7-2 アスファルト温度管理データを開く	30
8. コンクリート品質管理	31
8-1 新しいコンクリート品質管理データを作成する	31
8-2 コンクリート品質管理データを開く	31
9. 電子納品ツール	32
9-1 新しい電子納品ツールデータを作成する	32
9-2 電子納品ツールデータを開く	32
10. 原価工程管理	33
10-1 新しい原価工程管理データを作成する	33
10-2 原価工程管理データを開く	33
11. CO2排出量計算	34
11-1 新しいCO2排出量計算データを作成する	34
11-2 CO2排出量計算データを開く	34
12. 書類作成支援	35
12-1 よく使うひな形から帳票を作成する	35
12-1 その他の方法で帳票を作成する	36

1. 入力専用ライセンス	38
1-1 入力専用ライセンスとは	38
1-2 利用前の準備	38
1-3 入力専用ライセンスを終了する	39
1-4 入力専用ライセンスを利用するには・・・起動	40
2. 分担作業	41
2-1 分担作業を作成する	41
2-2 ネットワーク上の分担作業をローカルに持ち出す	43
2-3 持ち出した分担作業をネットワーク上に戻す	44
2-4 分担作業を終了して元工事に統合する	45
3. 工事の合成	46
3-1 工事を合成する	46
4. バックアップ・リストア	48
4-1 バックアップの概要	48
4-2 工事データをバックアップする	49
4-3 工事データをリストアする	50
4-4 各種設定をバックアップする	51
4-5 各種設定をリストアする	52
5. ローカルマスター	53
5-1 ローカルマスターを更新する	53

# 基本



EX-TREND 武蔵の[インデックス]  
を起動して、新規工事を作成して  
みましょう。

ここでは、EX-TREND 武蔵で、共通  
して使用できる自社情報、資機材・  
組織・人材マスタ、工事情報、工事内容  
についても解説しています。

**1** 起動

---

**2** 新規工事作成

---

**3** 自社情報

---

**4** 資機材・組織・人材マスタ

---

**5** 工事情報

---

**6** 工事内容

---



# 1 起動

EX-TREND武蔵シリーズのデータは、[EX-TREND武蔵 インデックス]で工事ごとに管理します。まず、[EX-TREND武蔵 インデックス]を起動して、画面回りの機能を確認してみましょう。

## 1-1 [インデックス]を起動する

本書では、Windows8.1を使用して解説しています。Windows7をお使いの方は、後記のメモ(P.3)を参照してください。

### デスクトップ画面から[インデックス]を起動する



1 [EX-TREND武蔵 インデックス]をダブルクリックします。



メモ

### 入力専用ライセンスについて

EX-TREND 武蔵シリーズは、「入力専用ライセンス」を使用して起動することができます。

「入力専用ライセンス」を使用して起動する操作については、「その他」の「1 入力専用ライセンス」(P.38)を参照してください。



[インデックス]は、起動時間・操作性を上げるため、タスクバーに常駐化するようにしています。

詳細は、「002\_ナビちゃんのつぶやき(インデックス).pdf」の「01 「常駐して武蔵の起動を高速化する」について」(P.2)を参照してください。

## Windows7 で[インデックス]を起動する

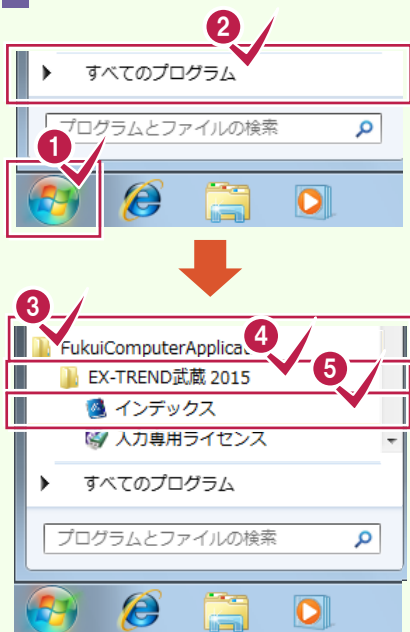
Windows7 でインデックスを起動する場合の操作方法を解説します。

## デスクトップのアイコンから起動する



- 1 [EX-TREND 武蔵 インデックス]をダブルクリックします。

## スタートボタンから起動する



- 1 スタートボタンをクリックします。
- 2 [すべてのプログラム]をクリックします。
- 3 [FukuiComputerApplication]をクリックします。
- 4 [EX-TREND 武蔵 2015]をクリックします。
- 5 [インデックス]をクリックします。

## 1-2 [インデックス]の画面構成

[インデックス]の画面まわりの機能を確認します。



<p>① [グループ一覧]</p>	<p>工事をグループごとに管理します。グループは5階層まで作成可能です。右クリックして表示されるポップアップメニューで、追加・編集・削除できます。グループを選択すると、所属する工事が[工事一覧]に表示されます。</p>
<p>② [工事一覧]</p>	<p>[グループ一覧]で選択中のグループ内の工事を一覧表示します。 [表示]-[工事の表示方法]で、表示方法の切り替えができます。</p>
<p>③ [アイコンバー]</p>	<p>[新規工事][作業開始][QA][最新に更新][終了]のアイコンを表示します。 [QA]では、お困りごとを検索することができます。</p>
<p>④ [工事の編集パネル]</p>	<p>[工事情報][電子納品][工事内容(工種)][管理基準]を編集するコマンドが用意されています。</p>

# 2 新規工事作成

新規工事を作成してみましょう。

## 2-1 新規に工事を作成する

[新規工事]の[新しく工事を作成する]で、新規に工事を作成します。



1 [新規工事]をクリックします。

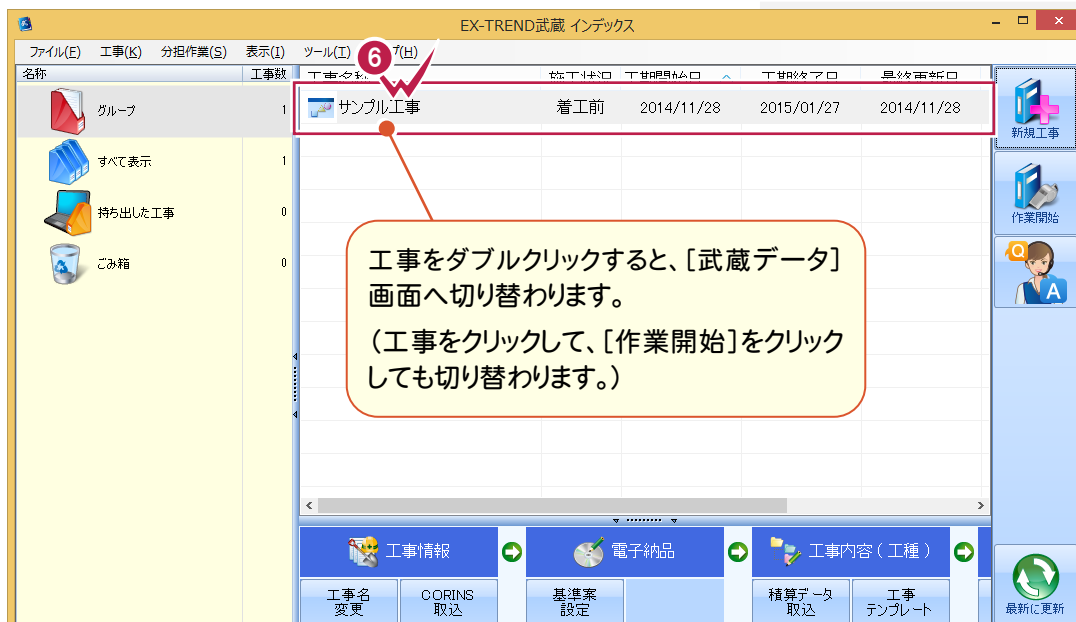
2 [新しく工事を作成する]をクリックします。

3 工事名称を入力します。

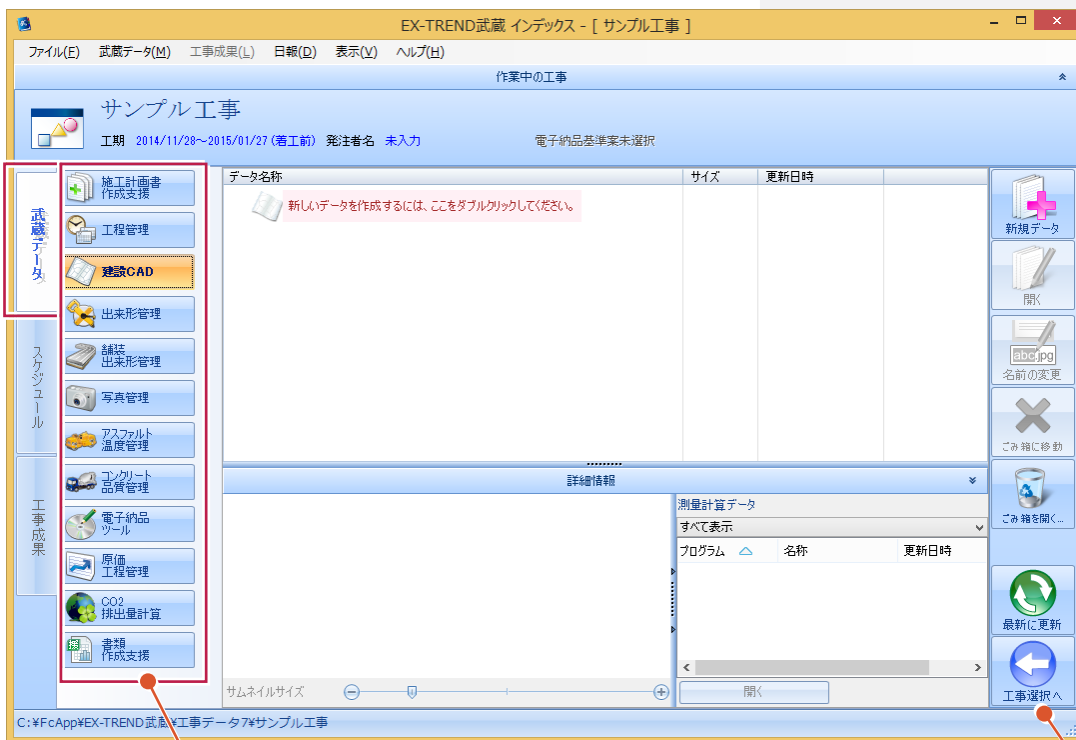
4 必要に応じて、発注年度(西暦)、工事番号、工事箇所、河川路線名等、工期開始・終了日、請負金額、工事内容などを入力します。

電子納品を行う場合は、[電子納品を行う]のチェックをオンにして要領・基準案を選択します。

5 入力を終了したら、[作成]をクリックします。




6 仕事をダブルクリックします。



[武蔵データ]画面で各アプリケーションを選択して起動します。  
詳細は、「武蔵データ」(P.21)を参照してください。

[工事選択へ]をクリックすると、工事一覧画面へ戻ります。

### 注意

商品を購入していない、プログラムがインストールされていない、バージョンが古いなど、アプリケーションが利用できない場合は、アプリケーションボタンに  が表示されます。

メモ

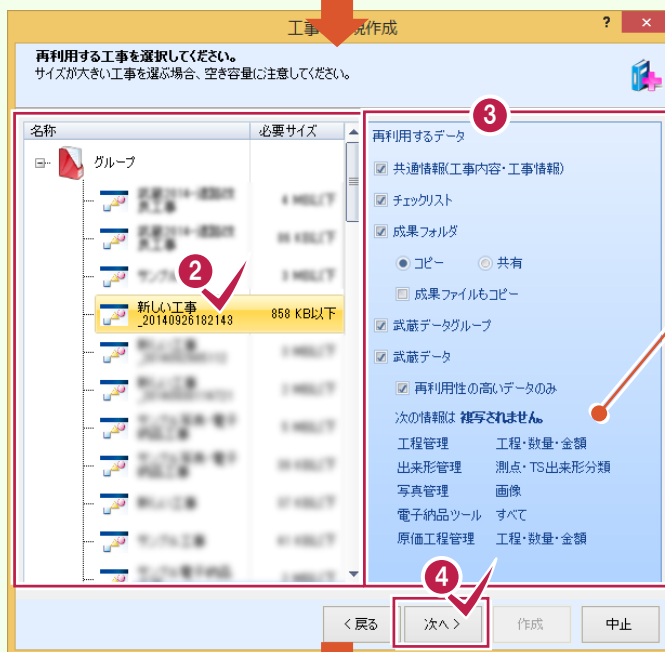
## 既存の工事を利用する場合は

[工事の新規作成]で[既存工事から作成する]を選択してください。

毎年同じような工事が続く場合などは、前年の既存工事を選択して作成すると便利です。



1 [既存工事から作成する]をクリックします。



2 再利用する工事を指定します。

3 再利用するデータを設定します。

以下のデータは複写されません。

- ・[工程管理]の工程・数量・金額
- ・[出来形管理]の測点・TS出来形分類
- ・[写真管理]の画像
- ・[電子納品ツール]のすべて
- ・[原価工程管理]の工程・数量・金額

4 [次へ]をクリックします。



5 工事名称を入力します。

6 必要に応じて、発注年度(西暦)、工事番号、工事箇所、河川路線名等、工期開始・終了日、請負金額、工事内容などを入力します。

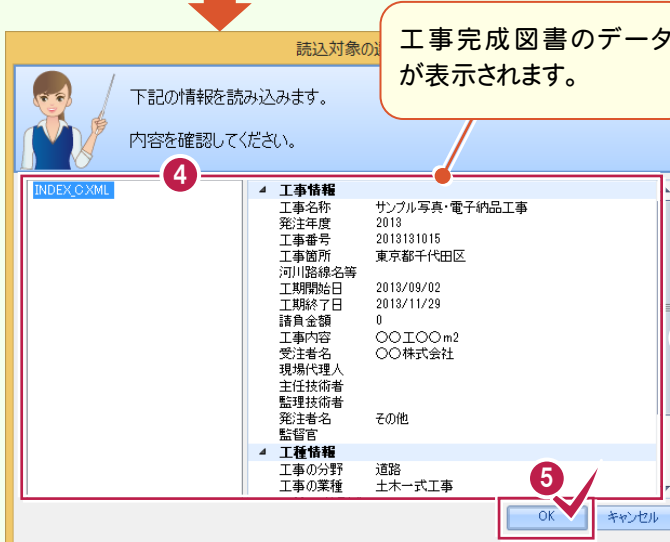
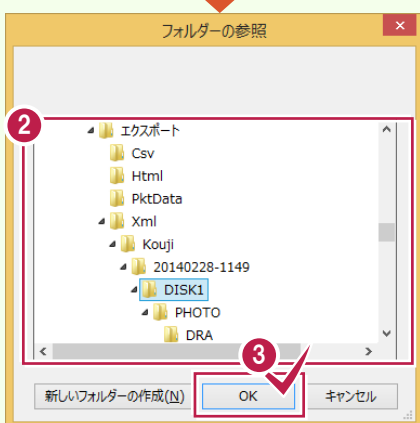
7 [作成]をクリックします。

メモ

## 工事完成図書を利用する場合は

[工事の新規作成]で[工事完成図書を参照する]を選択してください。

発注者から発注 CD を貸与された場合などは、こちらを選択して取り込むと便利です。



**Check**

「INDEX\_C.XML」「INDEX\_EC.XML」  
「INDEX\_MC.XML」がフォルダー内に存在しない場合は、工事名称などを入力して取り込むことができます。  
※フォルダー内の工事完成図書データは、発注原本として工事成果に登録されます。

1 [工事完成図書を参照する]をクリックします。

2 工事完成図書データが保存されているフォルダーを指定します。

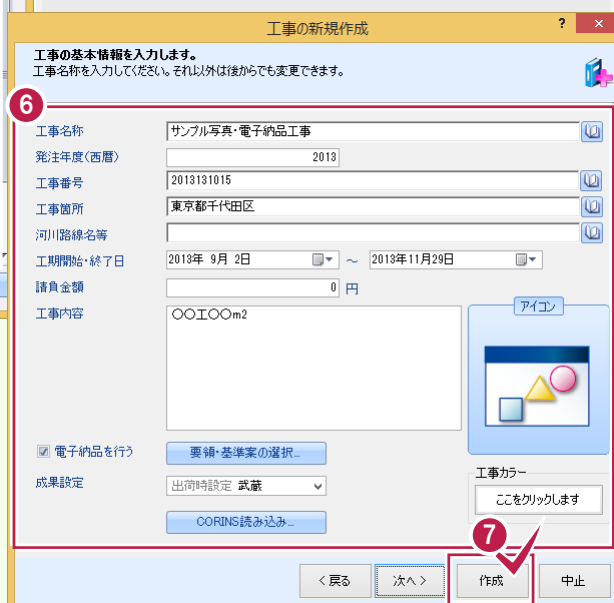
3 [OK]をクリックします。

4 読み込まれるデータを確認します。

5 [OK]をクリックします。

6 工事名称などを確認します。

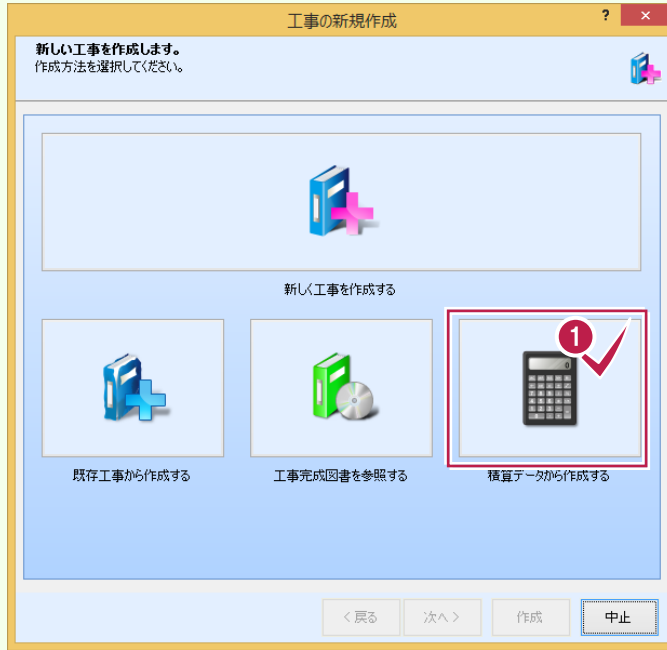
7 [作成]をクリックします。



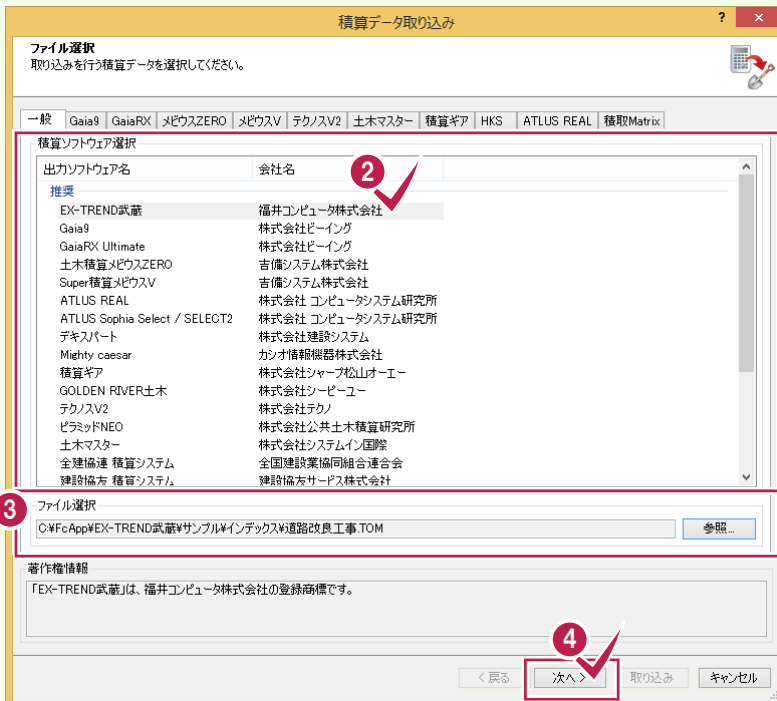
メモ

## 積算データを利用する場合は

[工事の新規作成]で[積算データから作成する]を選択してください。



- 1 [積算データから作成する]をクリックします。



- 2 積算データの出力ソフトウェアを指定します。

- 3 積算データを選択します。

- 4 [次へ]をクリックします。



TOMファイル(積算ソフト **TO Musashi** の略称)について教えてください。

「002\_ナビちゃんをつぶやき(インデックス).pdf」の「02 TOMファイルについて」(P.3)を参照してください。



各メーカーの積算データを取り込みたいのですが。

「002\_ナビちゃんをつぶやき(インデックス).pdf」の「03 各メーカーの積算データの取り込み方法」(P.4)を参照してください。



積算データ取り込み

確認と調整  
指定した積算データを、以下の構成で取り込みます。  
構成の確認と調整を行い、「取り込み」ボタンを押してください。

5

分類名称	規格・寸法	数量	単位	単価	金額	日当たり施工量	当たり
準備工		1	式	511,000	511,000		
現地踏査・現地測量	巾20m	200	m	2,555	511,000	40	
道路土工		1	式	10,391,000	10,391,000		
掘削工		2,000	m3	1,691.5	3,383,000	200	
路床盛土			m3	1,726	3,452,000	200	
路床盛土		2,000	m3	1,726	3,452,000	200	
排水構造物工		1	式	4,782,600	4,782,600		
排水工	路側(左右)	1	式	4,782,600	4,782,600		
自由支配割当	300×400~500	400	m	10,763	4,305,000	20	

6

資機材

すべて  グループ化

名称	規格・寸法	単位	単価	要素
現地踏査・現地測量				
普通作業員		人	14,300	労務費
測量士		人	18,000	労務費
製図工		人	9,000	労務費
掘削工				
普通作業員		人	14,300	労務費

7

取り込み キャンセル

積算データを取り込む時の注意点が表示されます。

5 取り込む分類のチェックをオンにします。

6 積算データに含まれる資機材データを確認します。

分類に資機材が含まれる場合は、アイコンの右下にマークが表示されます。

7 [取り込み]をクリックします。

8 確認のメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。

9 ここでは資機材の情報を使用するので、[はい]をクリックします。

10 工事名称などを確認します。

11 [作成]をクリックします。

EX-TREND武蔵

現在の構成で取り込みを行います。  
よろしいですか？

8

はい(Y) いいえ(N)

EX-TREND武蔵

指定した積算データには資機材が含まれます。この情報を使用しますか？

はい : 使用します。  
いいえ : 使用しません。  
キャンセル : 操作を取り消します。

9

はい(Y) いいえ(N) キャンセル

積算のデータが取り込まれて表示されます。

工事の新規作成

工事の基本情報を入力します。  
工事名称を入力してください。それ以外は後からでも変更できます。

10

工事名称: 武蔵2015-道路改良工事

発注年度(西暦): 2014

工事番号: 土26-002015

工事箇所: 福井県坂井市丸岡町

河川路線名等: 主要地方道 福井~丸岡線

工期開始・終了日: 2015年 2月 2日 ~ 2015年 6月 22日

請負金額: 42,000,000 円

工事内容: 【道路改良】施工延長L=200m、道路土工:掘削2000m3、

電子納品を行う  要領・基準案の選択...

成果設定: 出荷時設定 武蔵

CORINS読み込み...

アイコン

工事カラー: ここをクリックします

11

作成 中止

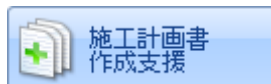
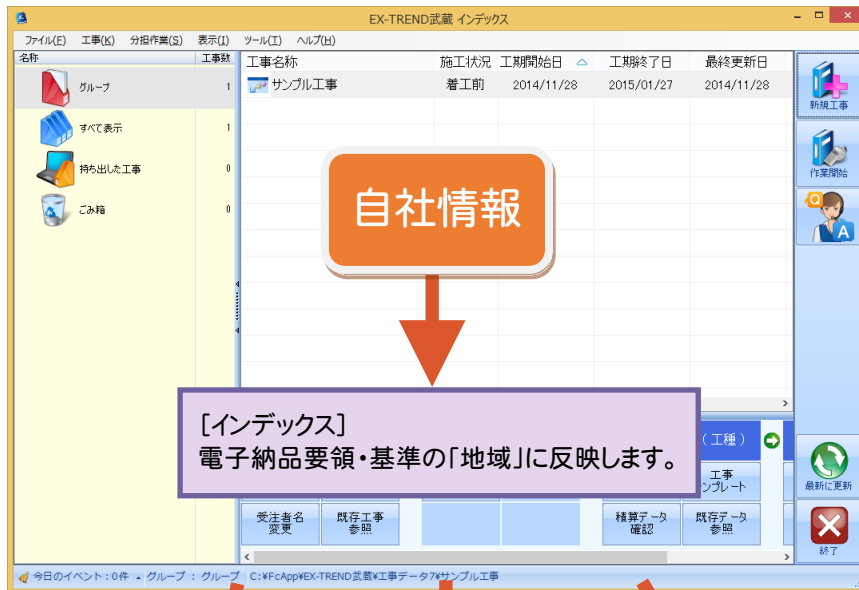
# 3 自社情報

[インデックス]の[ファイル]-[自社情報]で自社情報を入力できます。

ここで入力する自社情報は、EX-TREND 武蔵の共通の情報として保持されます。

自社情報を入力しておくと、[施工計画書作成支援][書類作成支援]で、住所、会社名、電話番号などをExcel上でドラッグ&ドロップして入力することができます。(再入力の手間を省くことができます。)

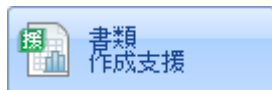
工程管理の工程図表などは、自社情報の住所、会社名、電話番号、代表者名を参照して自動入力されます。



[施工計画書作成支援]の Excel アドインの [工事情報貼り付け]-[自社情報]をクリックすると、右側に自社情報が表示されます。必要に応じて、Excel ファイルへ貼り付けることができます。



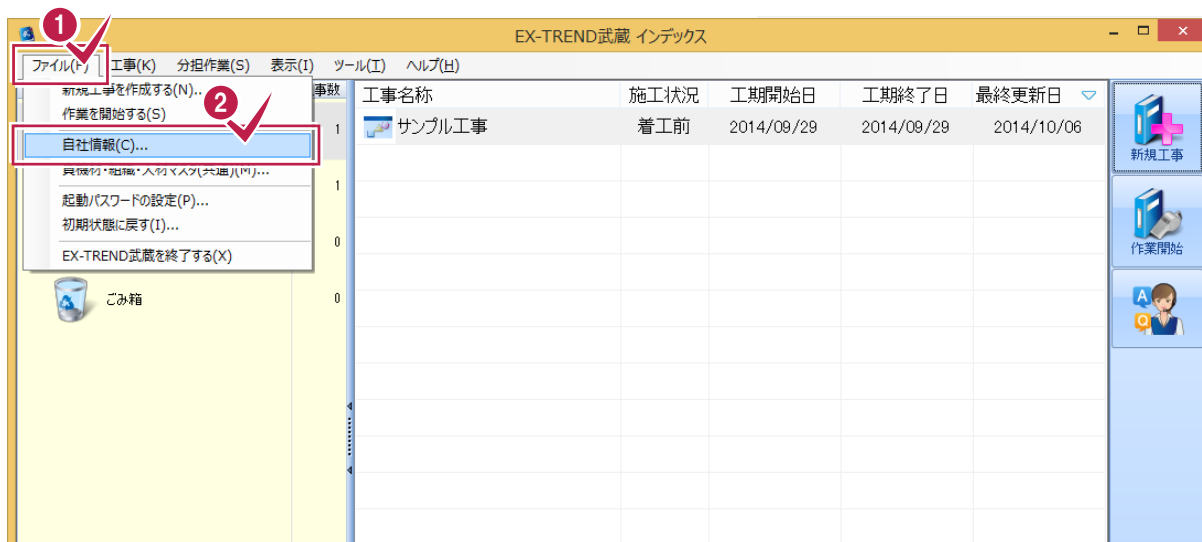
[エクセル出力]の[地域]に反映します。  
[エクセル出力]の帳票の[会社の住所]  
[会社の電話番号][会社の代表者]に反映します。



[書類作成支援]の Excel アドインの[自社情報]をクリックすると、右側に自社情報が表示されます。必要に応じて、Excel ファイルへ貼り付けることができます。

## 3-1 自社情報を入力する

自社情報を入力します。



The 'Company Information' form contains the following fields and values:

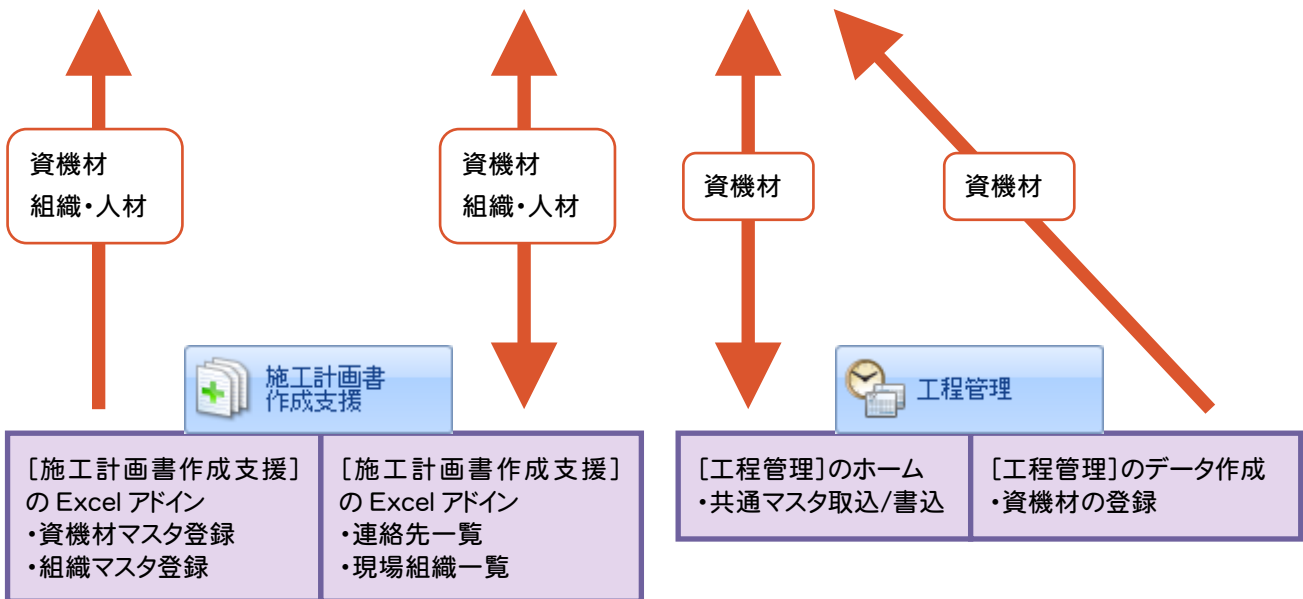
- 名称: 福井コンピュータ建設
- フリガナ: フワイコンピュータケンセツ
- 郵便番号: 910-0297
- 住所: 福井県坂井市丸岡町
- 組織区分: 本社
- 業種区分: 土木一式工事
- URL: (empty)
- 地域: 福井県
- 建設許可番号: 平01-12345
- 代表者: 代表太郎
- 備考: (empty)
- 電話番号: 0776-67-XXXX
- FAX番号: 0776-67-XXXX
- メール: (empty)
- 表彰: (empty)

The 'OK' button is highlighted with a red checkmark.

- 1 [ファイル]をクリックします。
- 2 [自社情報]をクリックします。
- 3 自社の名称、フリガナ、郵便番号、住所、組織区分、業種区分、地域、代表者、電話番号、FAX番号などを入力します。
- 4 [OK]をクリックします。

# 4 資機材・組織・人材マスタ

[インデックス]の[ファイル]-[資機材・組織・人材マスタ(共通)]で、資機材・組織・人材マスタを編集できます。  
 資機材・組織・人材マスタは、EX-TREND武蔵の共通の情報として保持されます。  
 EX-TREND武蔵のアプリケーションで、資機材・組織・人材マスタを使用して、入力・編集することができます。



## 4-1 資機材・組織・人材マスタを編集する

1 [ファイル]をクリックします。

2 [資機材・組織・人材マスタ(共通)]をクリックします。

3 [資機材]タブで、資機材マスタを編集します。

費目	名称	規格・寸法	単位	単価	略称	資
▼ 労務費	特殊作業員		人	16000		
▼ 労務費	普通作業員		人	14300		
▼ 労務費	軽作業員		人	10900		
▼ 労務費	造園工		人	15500		
▼ 労務費	法面工		人	16900		
▼ 労務費	とび工		人	17000		
▼ 労務費	石工		人	22200		
▼ 労務費	ブロック工		人	18100		
▼ 労務費	電工		人	16500		
▼ 労務費	鉄筋工		人	16000		
▼ 労務費	鉄骨工		人	16300		
▼ 労務費	塗装工		人	17400		
▼ 労務費	溶接工		人	18100		
▼ 労務費	運転手(特殊)		人	17000		
▼ 労務費	運転手(一般)		人	16600		
▼ 労務費	灌かん工		人	20800		
▼ 労務費	灌かん世話役		人	22200		
▼ 労務費	ざく岩工		人	16700		
▼ 労務費	トンネル特殊工		人	22100		
▼ 労務費	トンネル作業員		人	17200		
▼ 労務費	トンネル世話役		人	22800		
▼ 労務費	橋梁特殊工		人	21200		

4 [組織]タブで、組織マスタを編集します。

名称	組織区分	業種区分	郵便番号	住所	電話番号	備考
福井コンピュータ建設(株)	本社	土木一式工	910-0297	福井県坂井市丸岡町磯部福庄	0776-67-0000	※仮想の経理担当者
福井県○○土木事務所	発注者		910-0000	フクイケンフクイシ○○マチ	0776-00-0000	※仮想の発注者
福井県坂井市			910-0003	福井県坂井市		
福井県福井市			910-0002	福井県福井市		
福井県福井市			910-0001	福井県福井市		
福井県福井市○○丁目			910-0001	福井県福井市○○丁目	0776-00-0001	
福井県坂井市丸岡町			910-0002	福井県坂井市丸岡町	0776-00-0002	

5 [人材]タブで、人材マスタを編集します。

6 編集を終了したら、[OK]をクリックします。

# 5 工事情報

[インデックス]の[工事情報]で工事情報を入力できます。  
工事情報は工事ごとに保持され、同一工事内で共有して利用できます。

## 5-1 工事情報を入力する



**3** 工事名称 [サンプル工事]

発注年度(西暦) 2014

工事番号 2014141120

工事箇所 ○○県○○市

河川路線名等 ○○線

工期開始・終了日 2014年 9月20日 ~ 2014年 11月20日

請負金額 0 円

工事内容

**4** 受注者情報

受注者名 福井コンピュータ建設

現場代理人 現場一郎

主任技術者 主任二郎

監理技術者 監理三郎

発注者情報

発注者名 発注者○次郎

監督官 監督官○次郎

**5** OK

- 1 工事を選択します。
- 2 [工事情報]をクリックします。
- 3 発注年度(西暦)、工事番号、工事箇所、河川路線名等、工期開始・終了日、請負金額、工事内容などを入力します。
- 4 受注者情報、発注者情報を入力します。
- 5 [OK]をクリックします。

[受注者名][発注者名]は、リストから組織を選択します。リストには組織マスタの内容が表示されます。組織マスタに未登録の組織名を直接入力して[OK]を押した場合は、組織マスタに登録されます。  
[現場代理人][主任技術者][監理技術者][監督官]は、リストから人材を選択します。リストには、人材マスタの内容が表示されます。人材マスタに未登録の人材名を直接入力して[OK]を押した場合は、人材マスタに登録されます。

メモ

## コリンズで作成したデータを読み込む場合は

[工事情報]の[CORINS参照]で、コリンズで作成したデータを読み込むことができます。

工事情報

電子納品:  する  しない

施工状況: 着工前 0 % 読込...

工事カー: ここをクリックします

工事情報 | 工程情報 | ユーザー情報 | 変更履歴

工事名称: サンプル工事

発注年度(西暦):

工事番号:

工事箇所:

河川路線名等:

工期開始-終了日: 2014年10月27日 ~ 2014年10月27日

請負金額: 0 円

工事内容:

受注者情報

受注者名:

現場代理人:

主任技術者:

監理技術者:

発注者情報

発注者名:

監督官:

1 CORINS参照... 他工事参照... OK キャンセル

1 [CORINS参照]をクリックします。

読み込めるのは、「新コリンズ」から出力されるXMLファイルと、従来のCORINS入力システムからFD作成で出力された以下のファイルです。

	CORINS (Ver5.0)	CORINS (Ver6.0)
受注登録	JUTW5.CFD	JUTW6.CFD
変更登録	TOCW5.CFD	TOCW6.CFD
竣工登録	ZSKW5.CFD	ZSKW6.CFD
請負金額 2,500 万円未満の過去工事	JUOW5.CFD	—

読み込むファイルを指定してください。

整理 新フォルダー

名前 更新日時

2 新コリンズサンプルデータ.xml 2011/02/17

ファイル名(N): 新コリンズサンプルデータ.xml

3 開く(O) キャンセル

2 コリンズで作成したデータを選択します。

3 [開く]をクリックします。

4 取り込む内容を確認します。

5 [OK]をクリックします。  
チェックがオンの項目が取り込まれます。

CORINS情報

内容は工事情報に上書きされます。  
取り込まない項目はチェックを外してください。

4

項目	内容
<input checked="" type="checkbox"/> 工事番号	サンプル工事
<input checked="" type="checkbox"/> 工事名称	サンプル工事
<input checked="" type="checkbox"/> 工事箇所	〇〇県〇〇市〇〇丁目〇〇番地
<input checked="" type="checkbox"/> 河川路線名等	国道〇〇号
<input checked="" type="checkbox"/> 工期開始日	2014年10月27日
<input checked="" type="checkbox"/> 工期終了日	2014年10月27日
<input checked="" type="checkbox"/> 請負金額	99999999
<input checked="" type="checkbox"/> 工事内容	掘削工8500m3、土留め工2800m2、埋戻し工9500m3、路面覆工3.0m
<input checked="" type="checkbox"/> 発注者	国土〇〇省
<input type="checkbox"/> 監督官	
<input checked="" type="checkbox"/> 受注者	〇〇株式会社
<input checked="" type="checkbox"/> 監理技術者	〇〇次郎
<input checked="" type="checkbox"/> 主任技術者	〇〇花子
<input checked="" type="checkbox"/> 現場代理人	〇〇太郎
<input checked="" type="checkbox"/> 工事の分野	道路
<input checked="" type="checkbox"/> 工事の業種	土木一式工事
<input checked="" type="checkbox"/> 工種	アスファルト舗装工事、セメント・コンクリート舗装工事
<input checked="" type="checkbox"/> 工法・型式	アスファルト舗装工、セメントコンクリート舗装工

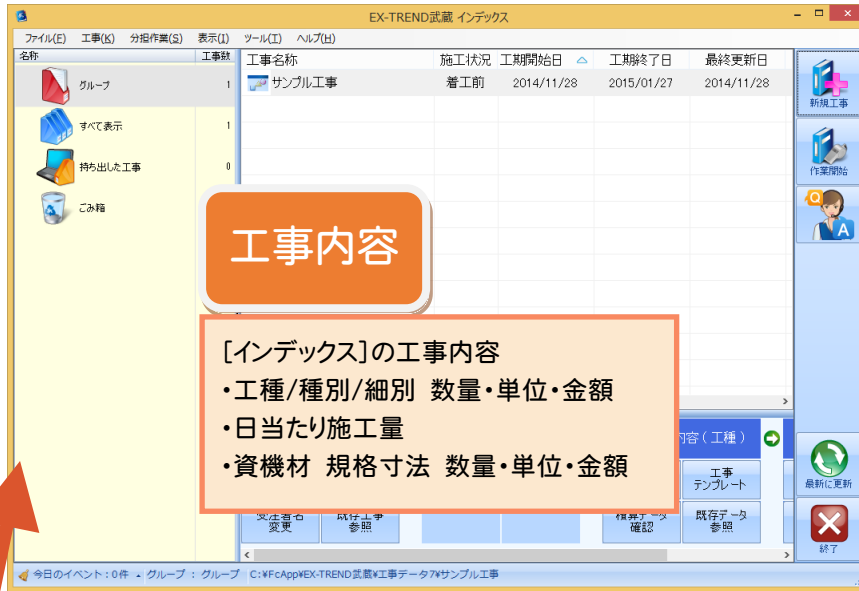
5 OK キャンセル

読み込まれるのは以下の項目です。

INDEX_C.XMLの項目	CORINS入力システムの項目
工事番号	工事番号
工事名称	工事件名
工事分野	工事の分野
工事業種	工事の業種
工種 ※複数可	工種
工法型式 ※複数可	工法・型式
住所コード ※複数可	施工場所(代表地点)
住所 ※複数可	施工場所(代表地点)
工期開始日	工期 西暦年月日から
工期終了日	工期 西暦年月日まで
対象水系路線名	路線・水系名等
発注者-大分類	×
発注者-中分類	×
発注者-小分類	×
発注者コード	発注機関コード
請負者名	請負会社名

# 6 工事内容

[インデックス]の[工事内容]で工事内容を入力できます。  
 工事内容は工事ごとに保持され、同一工事内で共有して利用できます。  
 ※ただし、[工事情報]の[工事内容]には反映されません。



**工事内容**

- [インデックス]の工事内容
- ・工種/種別/細別 数量・単位・金額
  - ・日当たり施工量
  - ・資機材 規格寸法 数量・単位・金額

分類名  
 ・工種/種別/細別  
 数量・単位

分類名  
 ・工種/種別/細別 数量・単位  
 ・金額[工程管理]  
 ・単価×数量で金額計算[原価工程管理]  
 ・日当たり施工量  
 資機材(すべて)  
 ・資機材名 規格寸法 数量・単位 単価

分類名  
 ・工種/種別/細別

機械名(条件)  
 資機材一覧で費目:機械費  
 材料名 数量・単位(条件)  
 資機材一覧で費目:材料費

(注意)分類名に付随して連携するので、インデックスで資機材を変更した場合は分類を読み込まなければ更新されません。

工程管理  
 原価  
 工程管理

出来形管理  
 舗装  
 出来形管理  
 写真管理  
 アスファルト  
 温度管理  
 コンクリート  
 品質管理

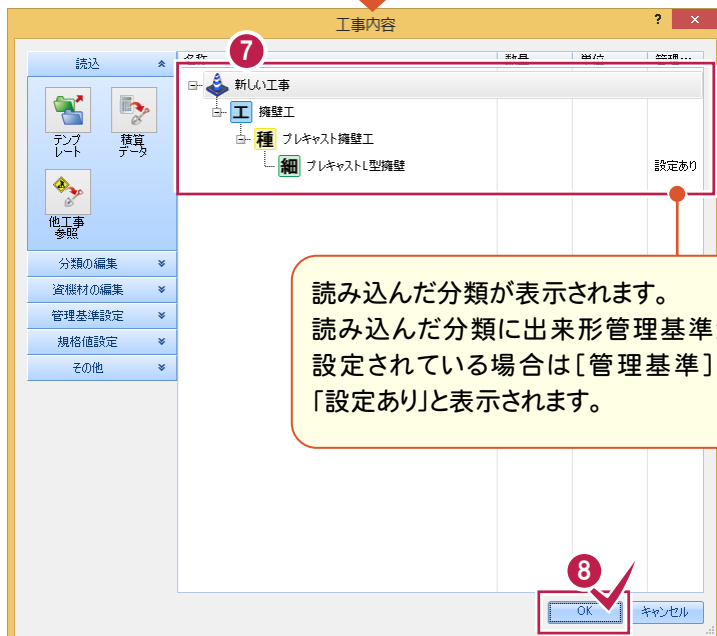
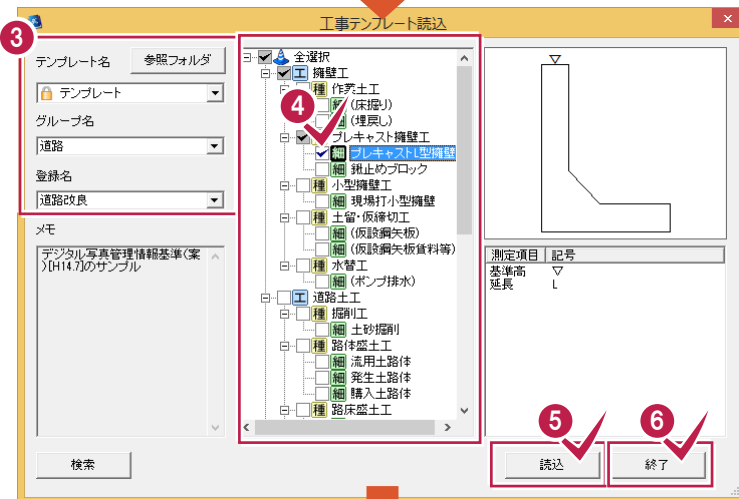
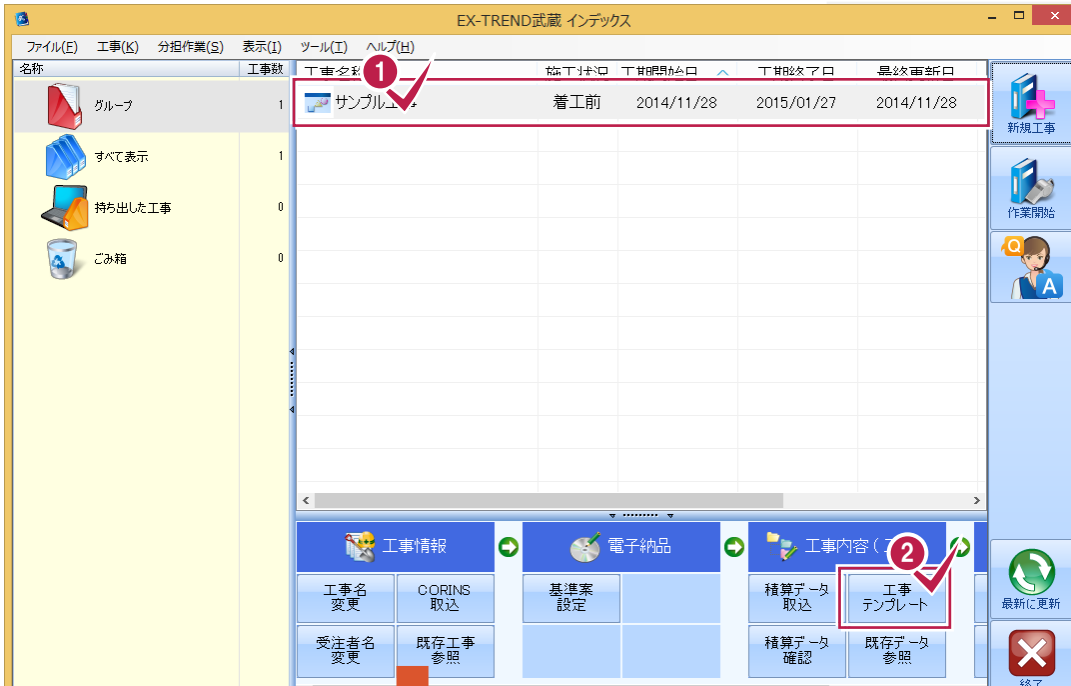
施工計画書  
 作成支援

[施工計画書作成支援]の  
 Excel アドイン



# 6-1 工事内容を入力する

操作例では、工事テンプレートから工事内容を読み込みます。



読み込んだ分類が表示されます。  
読み込んだ分類に出来形管理基準が  
設定されている場合は「管理基準」に  
「設定あり」と表示されます。

- 1 工事を選択します。
- 2 [工事内容(工種)]の[工事テンプレート]をクリックします。
- 3 テンプレート名、グループ名、登録名を選択します。
- 4 [プレキャストL型擁壁]のチェックをオンにします。
- 5 [読込]をクリックします。
- 6 [終了]をクリックします。
- 7 読み込まれた分類を確認します。
- 8 [OK]をクリックします。

## 分類、資機材などを編集する

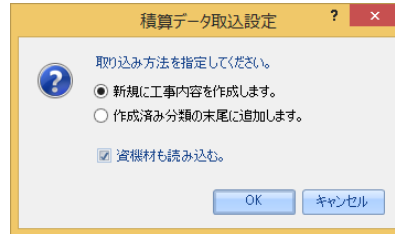
[工事内容]で、分類、資機材などを編集することができます。

## 【読込】



[テンプレート]: [工事テンプレート読込]ダイアログで、工事テンプレートから分類を読み込みます。

[積算データ]: [積算データ取込設定]ダイアログで、取り込み方法を指定します。



[積算データ取り込み]ダイアログで、各ベンダー会社の積算ソフトから積算データを取り込みます。取り込んだ資機材・取引先などは、工事マスタに追加されます。

[他工事参照]: [他工事から参照]ダイアログで、他の工事から分類を取り込みます。

## 【分類の編集】



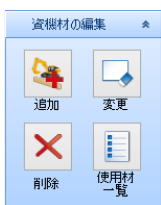
[追加]: [分類追加]ダイアログで、分類を追加します。

[変更]: [項目の変更]ダイアログで、右側のツリーで選択した分類の項目を編集します。

[削除]: 右側のツリーで選択した分類を削除します。下層の分類も同時に削除されます。

[上へ][下へ]: 右側のツリーで選択した分類を1つ上または1つ下へ移動します。下層の分類も同時に移動します。

## 【資機材の編集】



資機材のある工種分類を選択した時、ダイアログ右側下部に登録されている資機材の一覧が表示されます。

名称	規格・寸法	数量	単位
ダンブロック(込)	10t	20	台
バックホウ	0.5m <sup>3</sup>	10	台

[追加]: [資機材の追加]ダイアログで、ツリーで選択中の工種分類に資機材を追加します。

[変更]: [資機材の変更]ダイアログで、資機材の一覧で選択した資機材の項目を編集します。

[削除]: 資機材の一覧で選択した資機材を削除します。


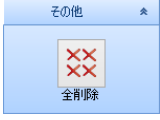
[使用材一覧]: [使用材一覧]ダイアログで、使用している資機材を一覧表示します。

## 【管理基準設定】



[出来形一括]: [管理基準一括設定]ダイアログで、工事分類に測定項目を一括設定します。

[出来形]: [測定項目条件設定]ダイアログで、分類に出来形管理基準を入力します。

<p><b>【規格値設定】</b></p> 	<p>[社内規格値]: [社内規格値設定]ダイアログで、全工種の社内規格値の規格値に対する%を一括変更します。</p> <p>[規格値名設定]: 基準値、社内規格値の名称を設定します。</p>
<p><b>【その他】</b></p> 	<p>[全削除]: 右側のツリーの分類を全て削除します。</p>

# 武蔵データ



[武蔵データ]画面で各アプリケーションを起動して、データの管理を行います。各アプリケーションを起動してみましょう。

- 1 施工計画書作成支援
- 2 工程管理
- 3 建設CAD
- 4 出来形管理
- 5 舗装出来形管理
- 6 写真管理
- 7 アスファルト温度管理
- 8 コンクリート品質管理
- 9 電子納品ツール
- 10 原価工程管理
- 11 CO2排出量計算
- 12 書類作成支援

# 1 施工計画書作成支援

[施工計画書作成支援]を起動してみましょう。

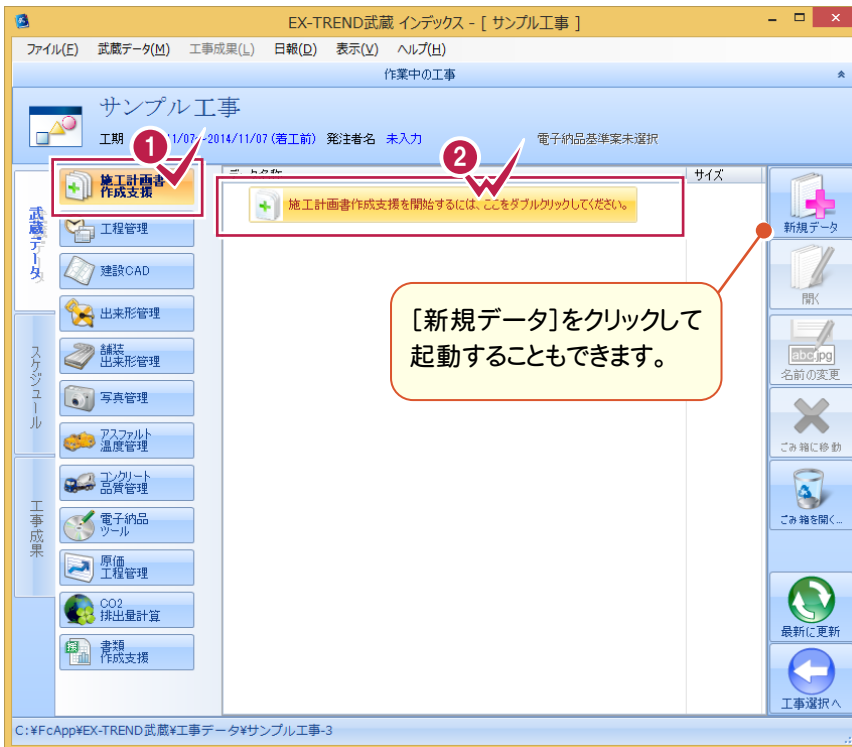
1

施工計画書作成支援

## 1-1 [施工計画書作成支援]を起動する

[施工計画書作成支援]を起動します。

初回起動時は、施工計画書作成支援を新規作成状態で起動します。2回目からは施工計画書作成支援データを開きます。



1 [施工計画書作成支援]をクリックします。

2 [施工計画書作成支援を開始するには、ここをダブルクリックしてください。]をダブルクリックします。

[施工計画書作成支援]については・・・

「各種資料(土木)×武蔵×入門編」の「3\_施工計画書作成支援」フォルダー内のPDFをご覧ください。

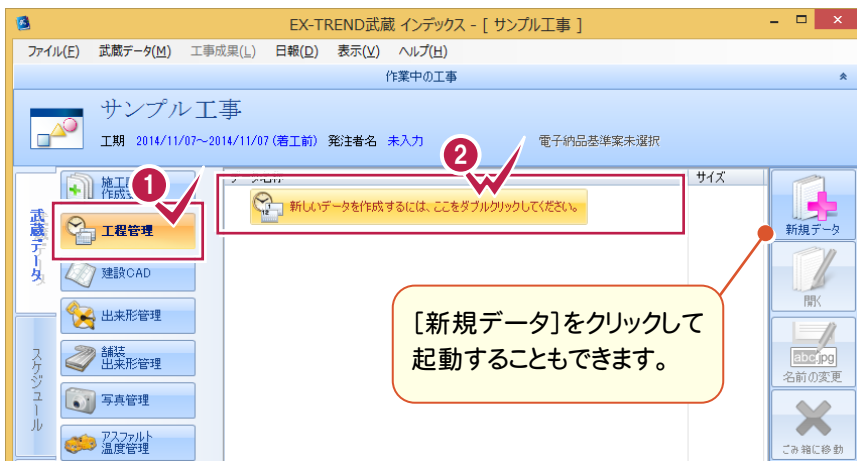


# 2 工程管理

[工程管理]を起動してみましょう。

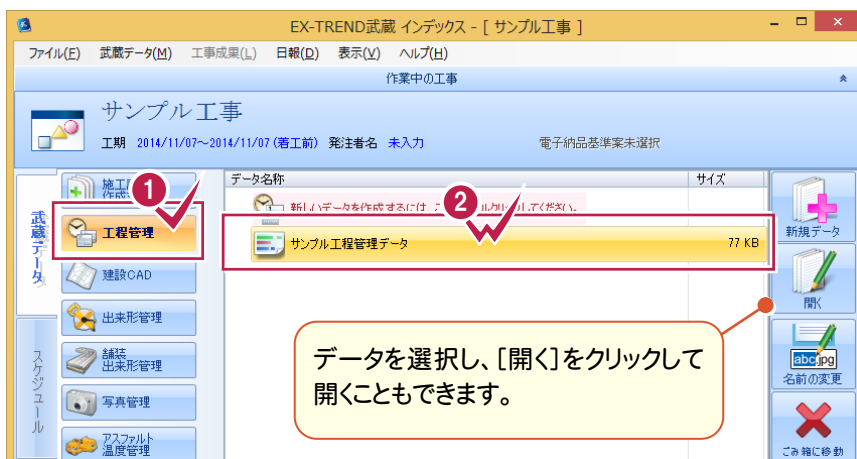
## 2-1 新しい工程管理データを作成する

[工程管理]を起動して、新しい工程管理データを作成します。



## 2-2 工程管理データを開く

作成済みの工程管理データを開きます。



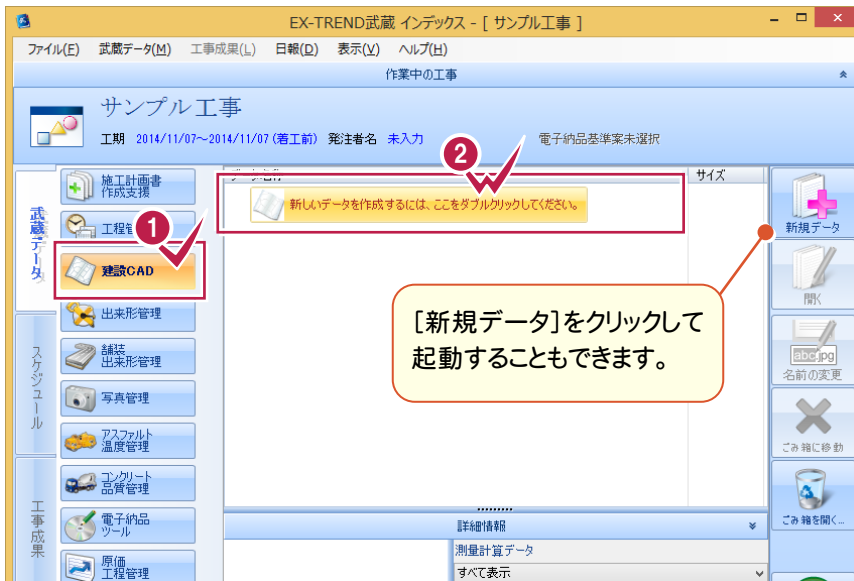
[工程管理]については・・・  
「各種資料(土木)×武蔵×入門編」の  
「4\_工程・原価工程管理」フォルダー内の  
PDFをご覧ください。

# 3 建設CAD

[建設CAD]を起動してみましょう。

## 3-1 新しい建設CADデータを作成する

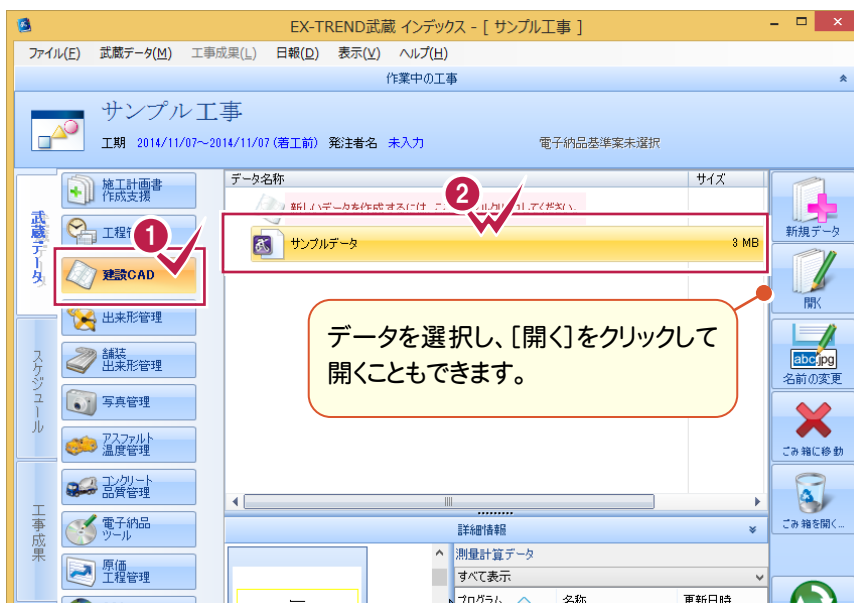
[建設CAD]を起動して、新しいデータを作成します。



- 1 [建設CAD]をクリックします。
- 2 [新しいデータを作成するには、ここをダブルクリックしてください。]をダブルクリックします。

## 3-2 建設CADデータを開く

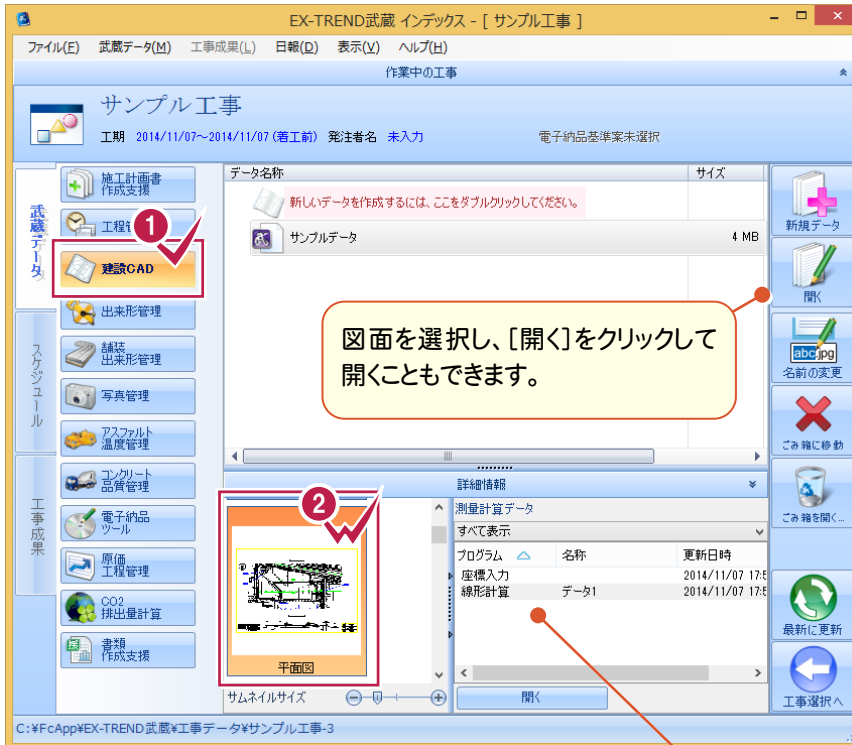
作成済みの建設CADデータを開きます。



- 1 [建設CAD]をクリックします。
- 2 データをダブルクリックします。

### 3-3 図面を開く

作成済みの図面を開きます。



- 1 [建設CAD]をクリックします。
- 2 図面をダブルクリックします。

図面を選択し、[開く]をクリックして開くこともできます。

選択した建設CADデータの測量計算データがリスト表示されます。  
測量計算データを選択して、[開く]をクリックすると、選択した測量計算データが開きます。

[建設CAD]については・・・

- 「各種資料(土木)¥武蔵¥入門編」フォルダー内の「011\_はじめてみよう!CAD(共通・作図編).pdf」「012\_はじめてみよう!CAD(外部ファイル編).pdf」「013\_ナビちゃんをつぶやき(CAD).pdf」をご覧ください。
- 「各種資料(土木)¥武蔵¥入門編」の「5\_建設CAD」フォルダー内のPDFをご覧ください。



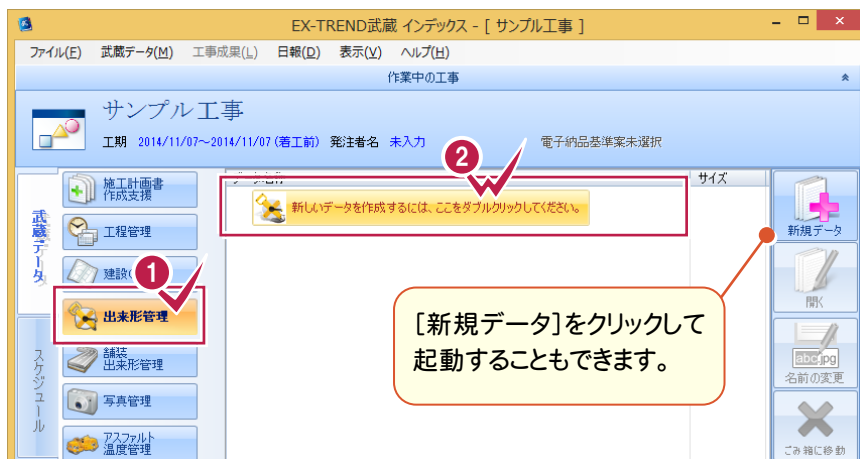


# 4 出来形管理

[出来形管理]を起動してみましょう。

## 4-1 新しい出来形管理データを作成する

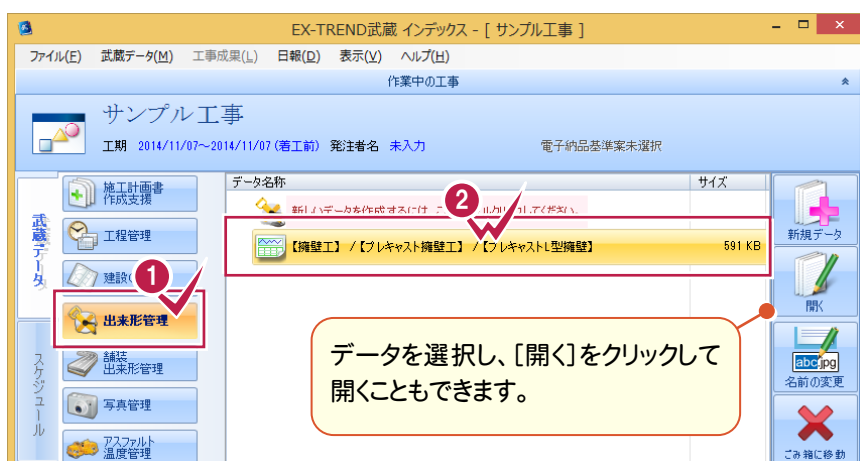
[出来形管理]を起動して、新しい出来形管理データを作成します。



- 1 [出来形管理]をクリックします。
- 2 [新しいデータを作成するには、ここをダブルクリックしてください。]をダブルクリックします。

## 4-2 出来形管理データを開く

作成済みの出来形管理データを開きます。



- 1 [出来形管理]をクリックします。
- 2 データをダブルクリックします。



[出来形管理]については・・・

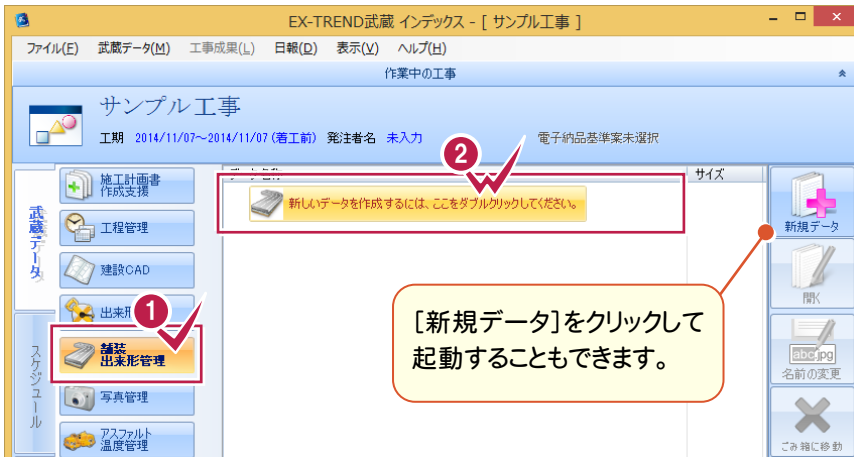
「各種資料(土木)×武蔵×入門編」フォルダー内の  
「031\_はじめてみよう!出来形管理.pdf」  
「032\_ナビちゃんのつぶやき(出来形管理).pdf」  
をご覧ください。

# 5 舗装出来形管理

[舗装出来形管理]を起動してみましょう。

## 5-1 新しい舗装出来形管理データを作成する

[舗装出来形管理]を起動して、新しい舗装出来形管理データを作成します。



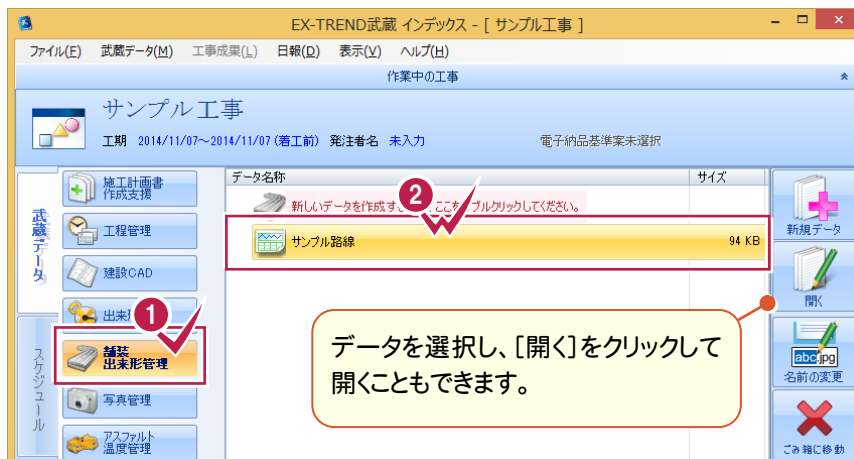
- 1 [舗装出来形管理]をクリックします。
- 2 [新しいデータを作成するには、ここをダブルクリックしてください。]をダブルクリックします。

5

舗装出来形管理

## 5-2 舗装出来形管理データを開く

作成済みの舗装出来形管理データを開きます。



- 1 [舗装出来形管理]をクリックします。
- 2 データをダブルクリックします。



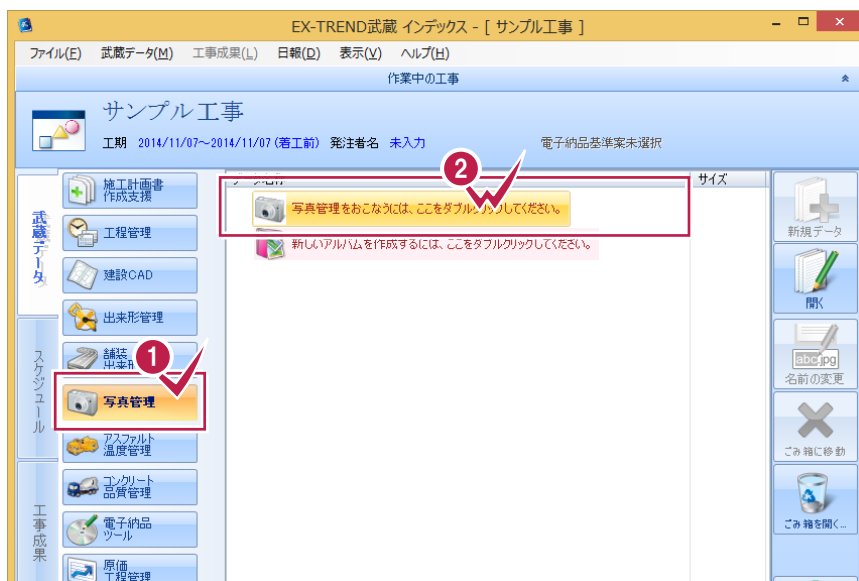
[舗装出来形管理]については・・・  
「各種資料(土木)×武蔵×入門編」の  
「7\_写真・出来形・品質管理」フォルダー内の  
PDFをご覧ください。

# 6 写真管理

[写真管理]を起動してみましょう。

## 6-1 [写真管理]を起動する

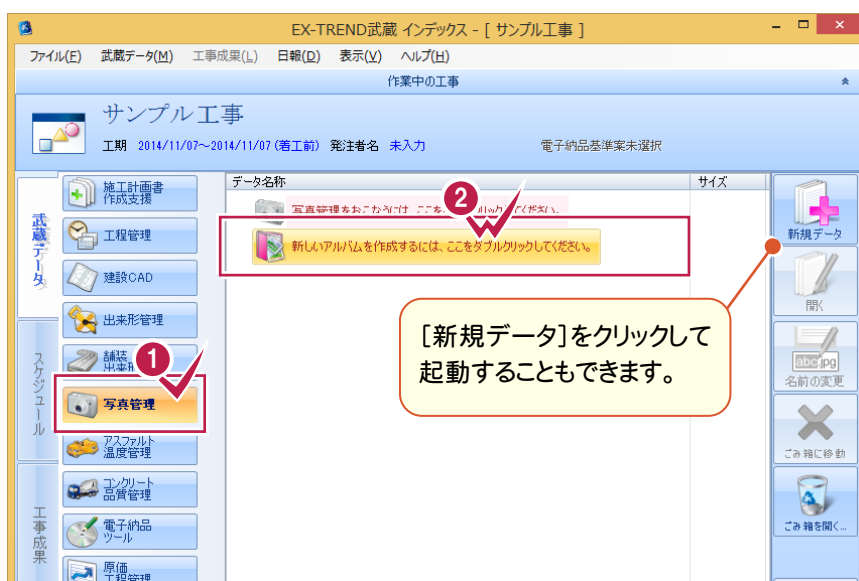
[写真管理]を起動します。



- 1 [写真管理]をクリックします。
- 2 [写真管理をおこなうには、ここをダブルクリックしてください。]をダブルクリックします。

## 6-2 新しいアルバムを作成する

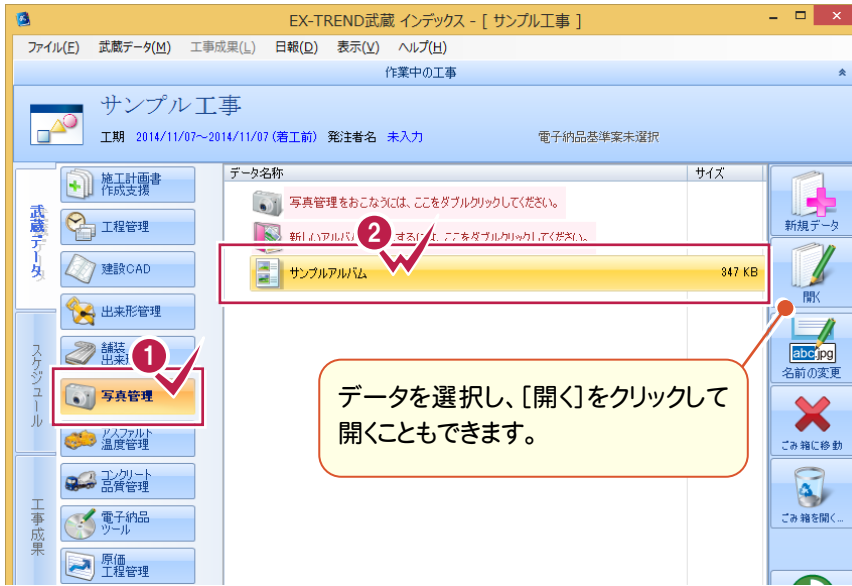
[アルバム編集]を起動して、新しいアルバムを作成します。



- 1 [写真管理]をクリックします。
- 2 [新しいアルバムを作成するには、ここをダブルクリックしてください。]をダブルクリックします。

## 6-3 アルバム編集データを開く

作成済みのアルバム編集データを開きます。



- 1 [写真管理]をクリックします。
- 2 アルバム編集データをダブルクリックします。

[写真管理]については・・・

- ・「各種資料(土木)¥武蔵¥入門編」フォルダー内の「021\_はじめてみよう!写真・電子納品.pdf」「022\_ナビちゃんをつぶやき(写真・電子納品).pdf」をご覧ください。
- ・「各種資料(土木)¥武蔵¥入門編」の「7\_写真・出来形・品質管理」フォルダー内のPDFをご覧ください。

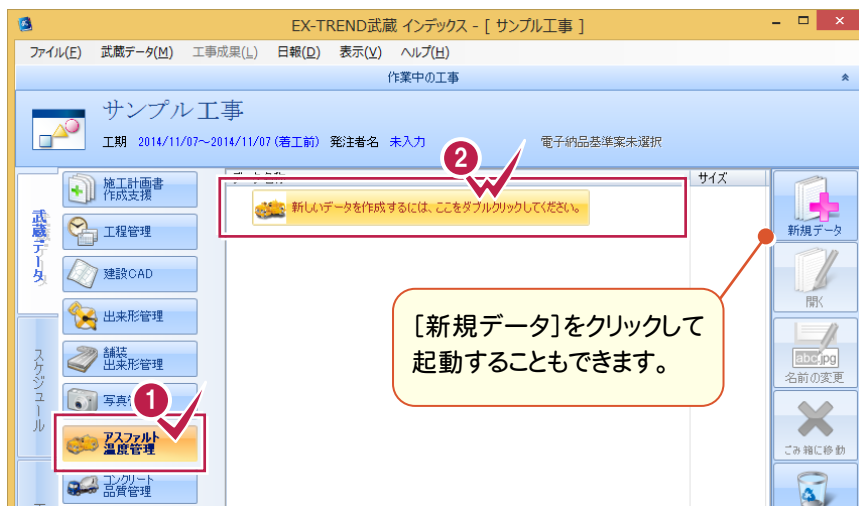


# 7 アスファルト温度管理

[アスファルト温度管理]を起動してみましょう。

## 7-1 新しいアスファルト温度管理データを作成する

[アスファルト温度管理]を起動して、新しいアスファルト温度管理データを作成します。

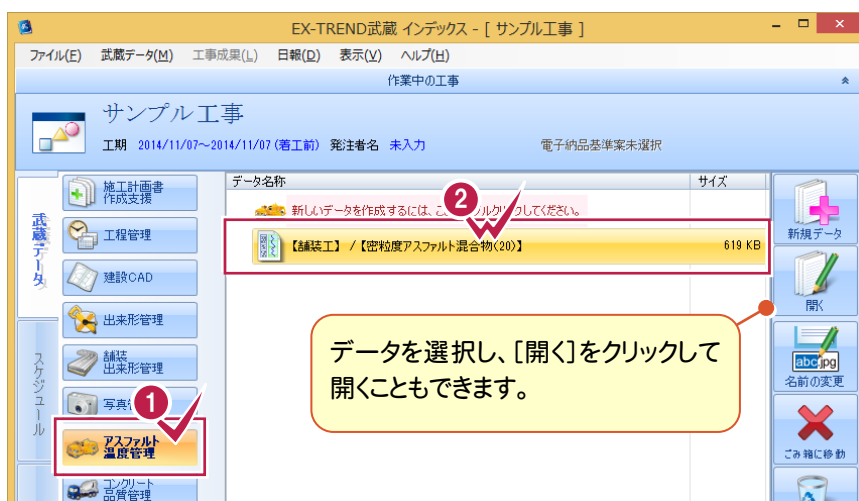


1 [アスファルト温度管理]をクリックします。

2 [新しいデータを作成するには、ここをダブルクリックしてください。]をダブルクリックします。

## 7-2 アスファルト温度管理データを開く

作成済みのアスファルト温度管理データを開きます。



1 [アスファルト温度管理]をクリックします。

2 データをダブルクリックします。



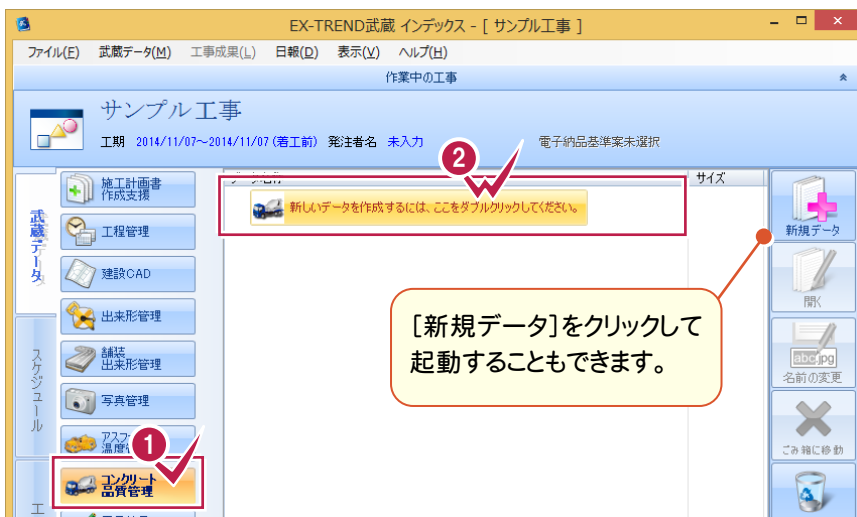
[アスファルト温度管理]については・・・  
「各種資料(土木)¥武蔵¥入門編」の  
「7\_写真・出来形・品質管理」フォルダー内の  
PDFをご覧ください。

# 8 コンクリート品質管理

[コンクリート品質管理]を起動してみましょう。

## 8-1 新しいコンクリート品質管理データを作成する

[コンクリート品質管理]を起動して、新しいコンクリート品質管理データを作成します。

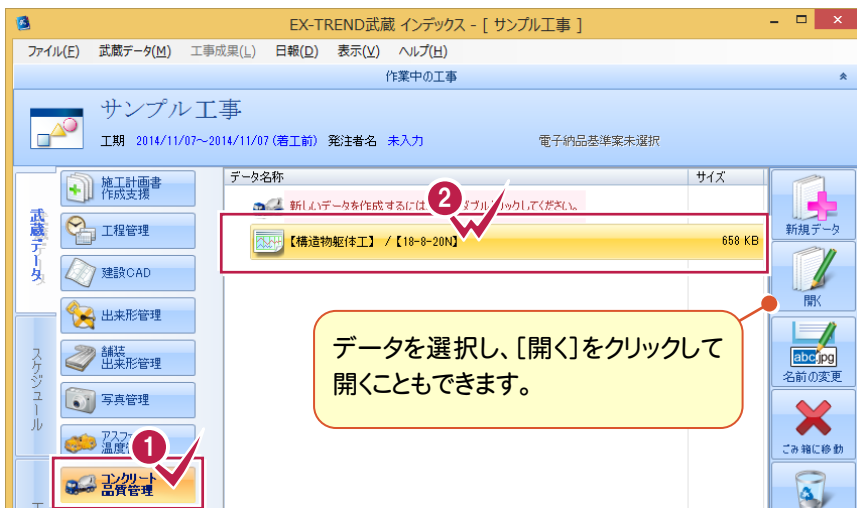


- 1 [コンクリート品質管理]をクリックします。
- 2 [新しいデータを作成するには、ここをダブルクリックしてください。]をダブルクリックします。

[新規データ]をクリックして起動することもできます。

## 8-2 コンクリート品質管理データを開く

作成済みのコンクリート品質管理データを開きます。



- 1 [コンクリート品質管理]をクリックします。
- 2 データをダブルクリックします。

データを選択し、[開く]をクリックして開くこともできます。



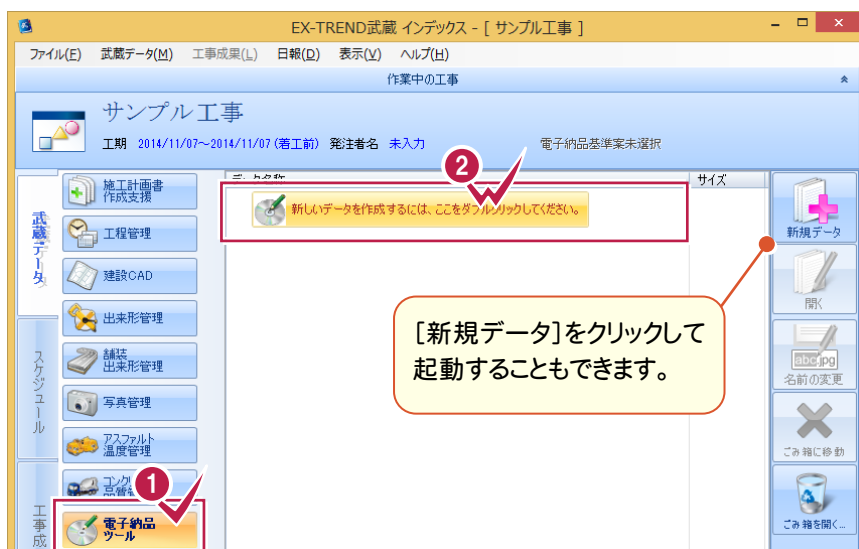
[コンクリート品質管理]については・・・  
「各種資料(土木)¥武蔵¥入門編」の「7\_写真・出来形・品質管理」フォルダー内のPDFをご覧ください。

# 9 電子納品ツール

[電子納品ツール]を起動してみましょう。

## 9-1 新しい電子納品ツールデータを作成する

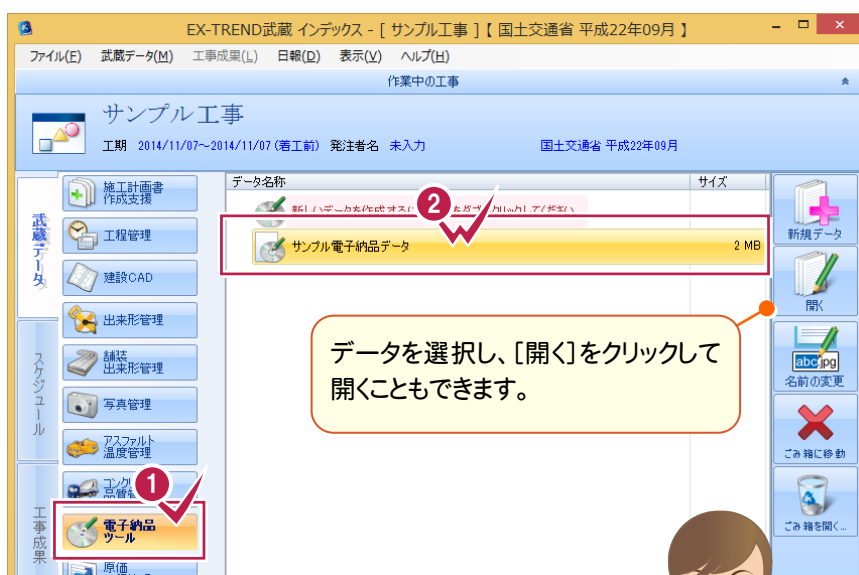
[電子納品ツール]を起動して、新しい電子納品ツールデータを作成します。



- 1 [電子納品ツール]をクリックします。
- 2 [新しいデータを作成するには、ここをダブルクリックしてください。]をダブルクリックします。

## 9-2 電子納品ツールデータを開く

作成済みの電子納品ツールデータを開きます。



- 1 [電子納品ツール]をクリックします。
- 2 データをダブルクリックします。

[電子納品ツール]については「各種資料(土木)¥武蔵¥入門編」フォルダー内の「041\_はじめてみよう!電子納品(工事完成図書編).pdf」をご覧ください。

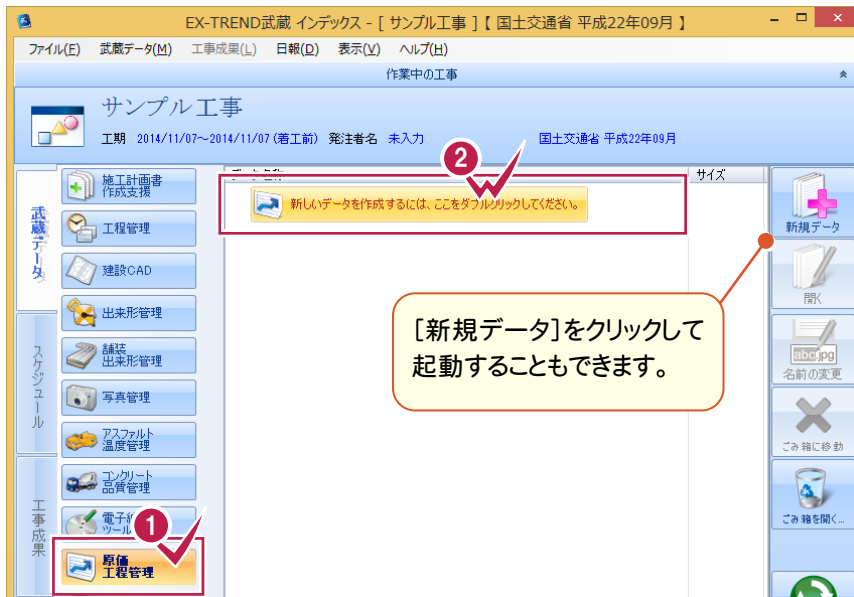


# 10 原価工程管理

[原価工程管理]を起動してみましょう。

## 10-1 新しい原価工程管理データを作成する

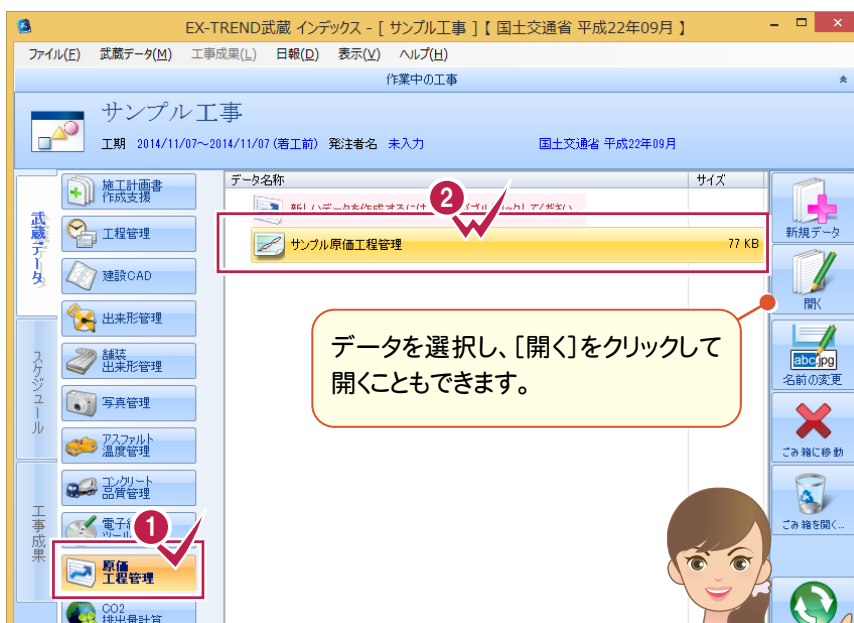
[原価工程管理]を起動して、新しい原価工程管理データを作成します。



- 1 [原価工程管理]をクリックします。
- 2 [新しいデータを作成するには、ここをダブルクリックしてください。]をダブルクリックします。

## 10-2 原価工程管理データを開く

作成済みの原価工程管理データを開きます。



- 1 [原価工程管理]をクリックします。
- 2 データをダブルクリックします。

[原価工程管理]については・・・  
「各種資料(土木)¥武蔵¥入門編」の「4\_工程・原価工程管理」フォルダー内のPDFをご覧ください。



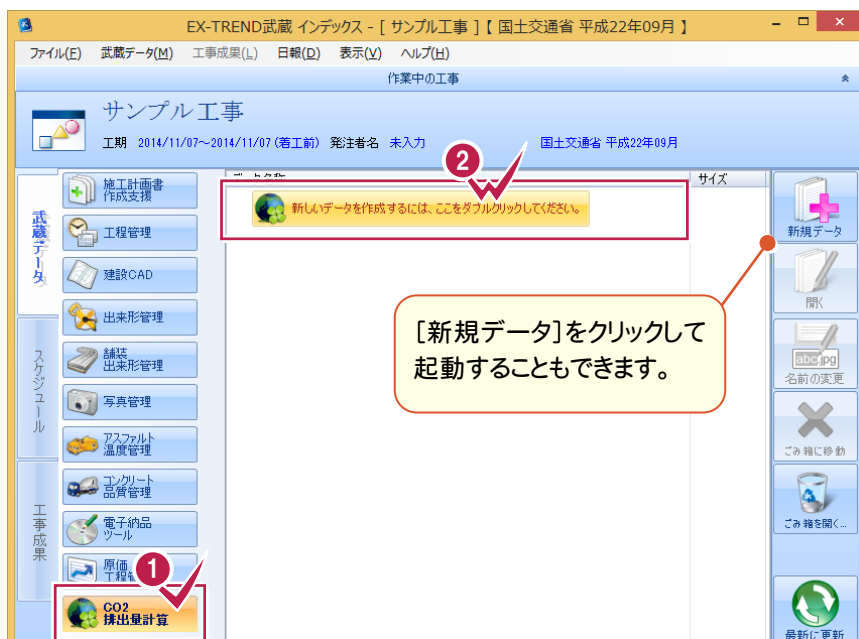


# 11 CO2排出量計算

[CO2排出量計算]を起動してみましょう。

## 11-1 新しいCO2排出量計算データを作成する

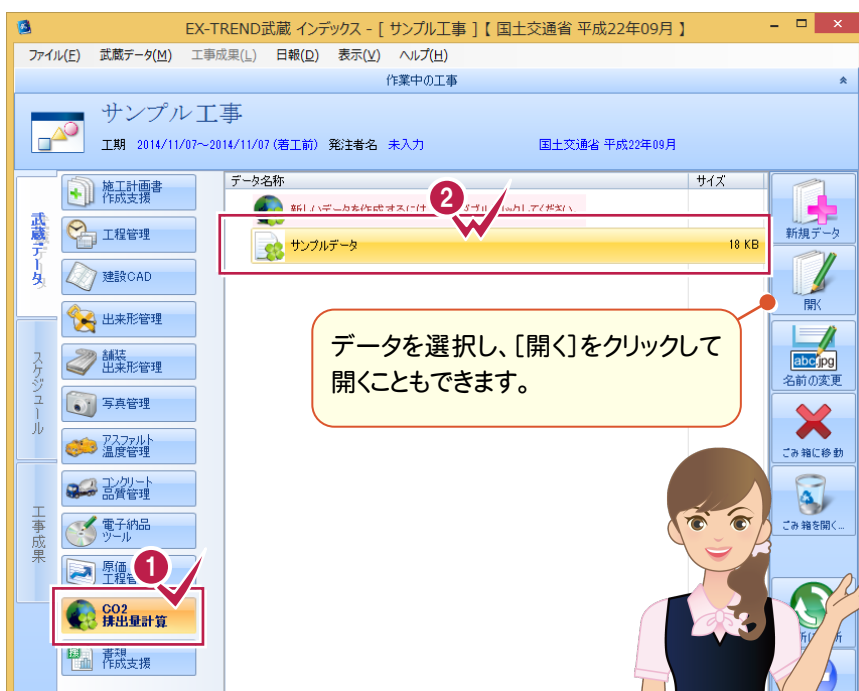
[CO2排出量計算]を起動して、新しいCO2排出量計算データを作成します。



- 1 [CO2排出量計算]をクリックします。
- 2 [新しいデータを作成するには、ここをダブルクリックしてください。]をダブルクリックします。

## 11-2 CO2排出量計算データを開く

作成済みのCO2排出量計算データを開きます。



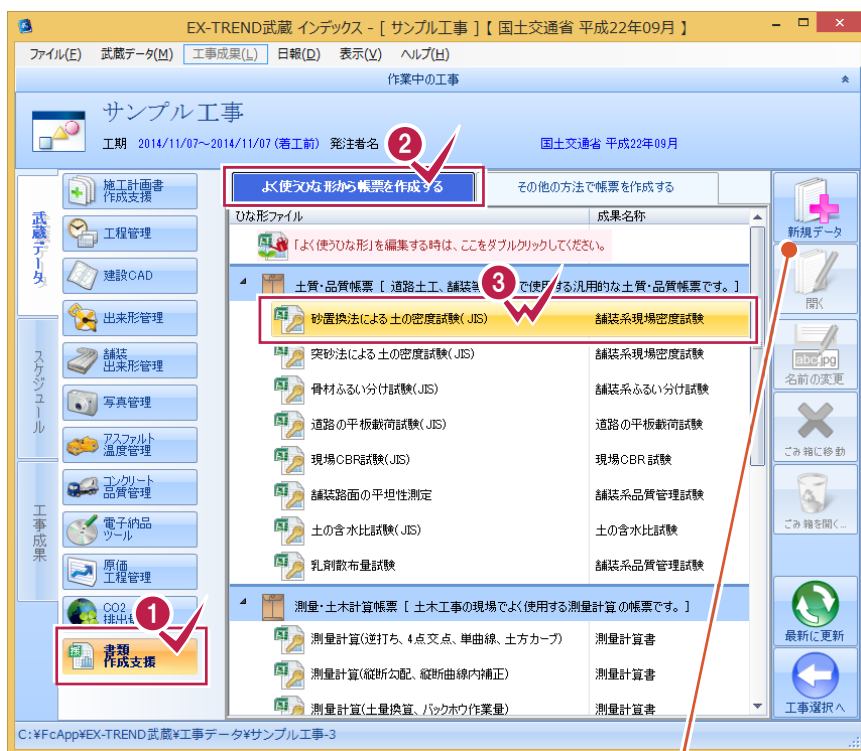
- 1 [CO2排出量計算]をクリックします。
- 2 データをダブルクリックします。

# 12 書類作成支援

[書類作成支援]を起動してみましょう。

## 12-1 よく使うひな形から帳票を作成する

よく使うひな形から帳票を作成します。

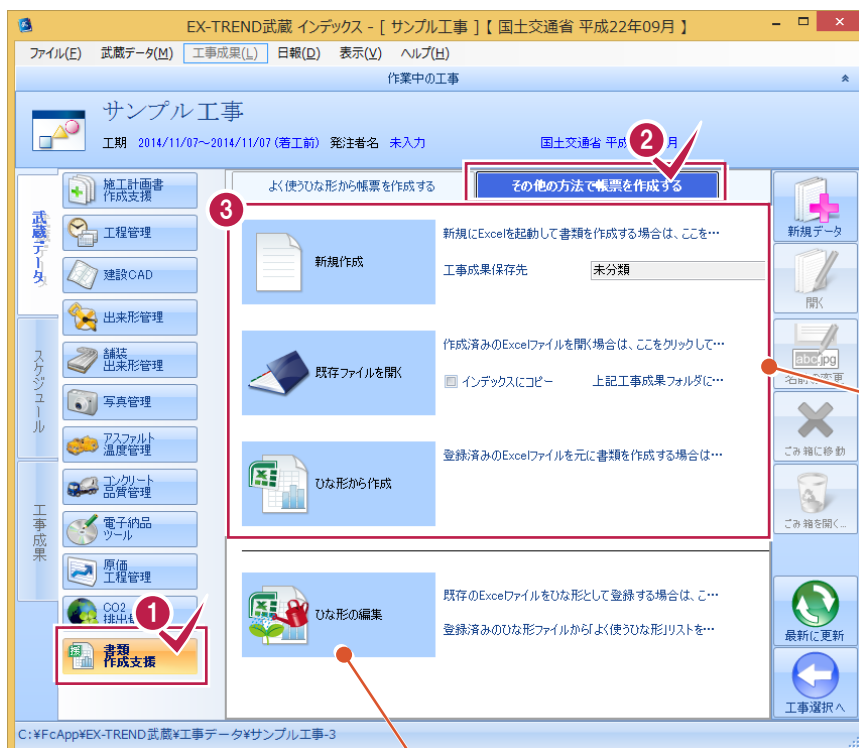


- 1 [書類作成支援]をクリックします。
- 2 [よく使うひな形から帳票を作成する]をクリックします。
- 3 使用するひな形をダブルクリックします。

ひな形を選択し、[新規データ]をクリックして起動することもできます。

## 12-2 その他の方法で帳票を作成する

その他の方法で帳票を作成します。



1 [書類作成支援]をクリックします。

2 [その他の方法で帳票を作成する]をクリックします。

3 作成方法を選択します。

[新規作成]: Excelを起動して新規に書類を作成します。

[既存ファイルを開く]: 作成済みのExcelファイルを開きます。

[ひな形から作成]: 登録済みのExcelファイルを元に書類を作成します。

既存のExcelファイルをひな形として登録できます。  
ひな形ファイルを「よく使うひな形リスト」に登録できます。

[書類作成支援]については...

「各種資料(土木)¥武蔵¥入門編」の  
「2\_インデックス・書類作成支援」  
フォルダー内のPDFをご覧ください。



# その他



この章では、EX-TREND 武蔵の  
下記の項目について解説します。

**1** 入力専用ライセンス

---

**2** 分担作業

---

**3** 工事の合成

---

**4** バックアップ・リストア

---

**5** ローカルマスター

---

# 1 入力専用ライセンス

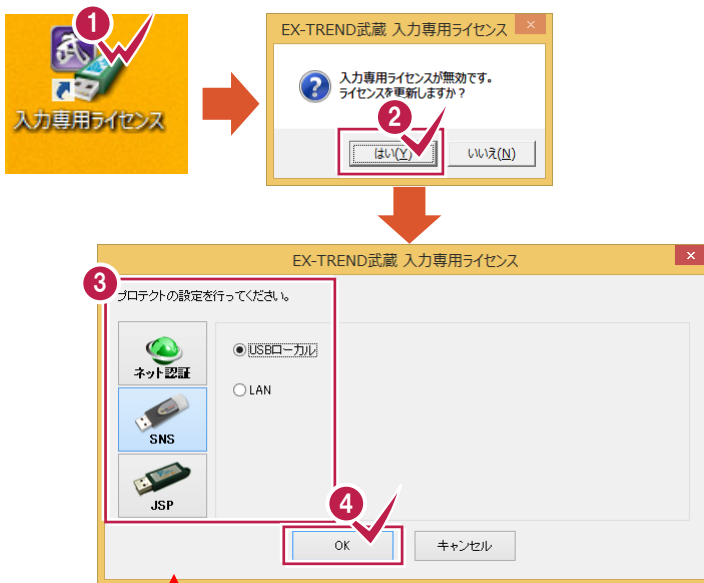
EX-TREND武蔵シリーズは、「入力専用ライセンス」を使用して起動することができます。  
ここでは、「入力専用ライセンス」を使用して起動する操作を確認してみましょう。

## 1-1 入力専用ライセンスとは

「入力専用ライセンス」を利用することで、ネット認証ライセンスを解除した状態、またはUSBプロテクトを外した状態でもEX-TREND武蔵シリーズを利用することができます。  
ただし、「入力専用ライセンス」でプログラムが動作しているときには、各種データの入力や保存は可能ですが、成果物の印刷やファイルの出力などができません。

## 1-2 利用前の準備

入力専用ライセンスを使用するためには、プロテクト装置（ネット認証ライセンス、USBプロテクト）からライセンス情報を取得しておく必要があります。ライセンス情報の取得時には、コンピュータにプロテクトを装着（ネット認証の場合はプロダクトIDの認証）しておいてください。

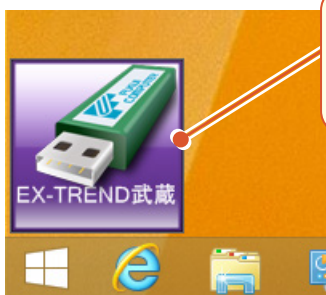
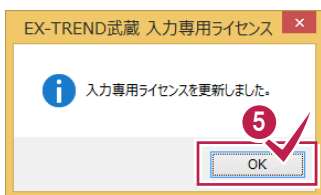


- 1 デスクトップの[入力専用ライセンス]をダブルクリックして起動します。
- 2 [はい]をクリックします。
- 3 [ターゲット]で、使用されているプロテクトを選択します。
- 4 [OK]をクリックします。

【ネット認証】 [占有モード]: ネット認証ライセンス(占有)の場合に選択します。  
[LANモード]: ネット認証ライセンス(LAN)の場合に選択します。  
プロテクトを装着しているサーバー名の入力が必要です。  
[共有モード]: ネット認証ライセンス(共有)の場合に選択します。

【SNS】 [USBローカル]: USBプロテクト【SNS-W】の場合に選択します。  
[LAN]: USBプロテクト【SNS-LAN-X】の場合に選択します。  
プロテクトを装着しているサーバー名、TCP/IPポート番号の入力が必要です。

【JSP】 [USBローカル]: USBプロテクト【JSP-R】の場合に選択します。  
[LAN]: USBプロテクト【JSP-LAN-R】の場合に選択します。  
プロテクトを装着しているサーバー名の入力が必要です。



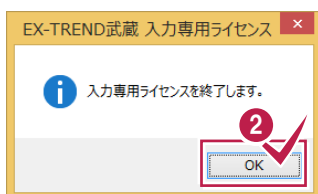
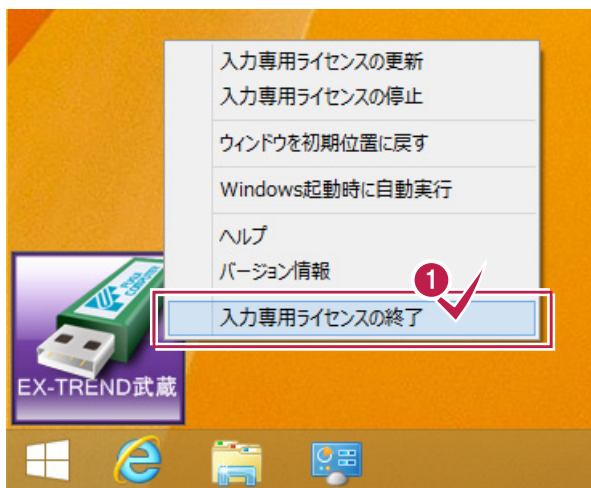
ライセンスが取得され、デスクトップの左下に「入力専用ライセンス」が起動します。

5 入力専用ライセンスの更新が終了すると確認のメッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。

## 1-3 入力専用ライセンスを終了する

「入力専用ライセンス」を終了します。

入力専用ライセンスは、使用しないときは終了させておきます。起動させたままだと、プロテクトが装着されていても入力専用で動作します。

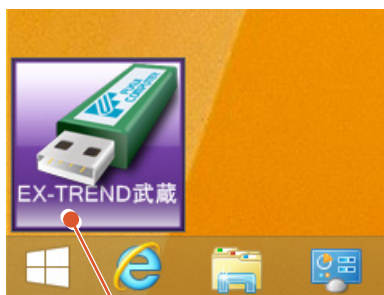


1 [入力専用ライセンス]を右クリックして表示されるポップアップメニューから、[入力専用ライセンスの終了]をクリックします。

2 終了の確認のメッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。

## 1-4 入力専用ライセンスを利用するには・・・起動

「入力専用ライセンス」を利用する場合は、プログラムの起動前に「入力専用ライセンス」を起動しておきます。



ライセンスが取得され、デスクトップの左下に「入力専用ライセンス」が起動します。「入力専用ライセンス」のアイコンは、ドラッグして任意の位置に移動できます。次回起動時には、移動した位置に表示されます。

- 1 デスクトップの[入力専用ライセンス]をダブルクリックして起動します。

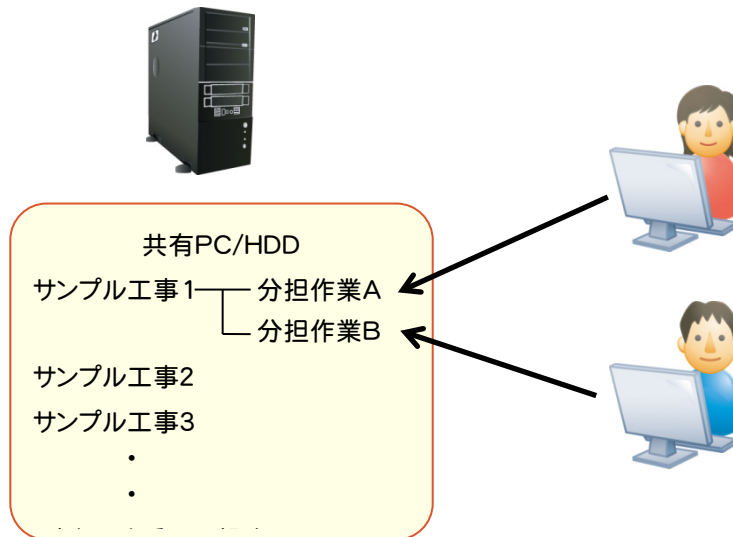
### 入力専用ライセンスの制限事項・解除方法は？

「002\_ナビちゃんをつぶやき(インデックス).pdf」の「04 入力専用ライセンスの制限事項・解除方法」(P.42)を参照してください。



# 2 分担作業

共有フォルダー（サーバー）の工事の分担作業について確認してみましょう。  
共有フォルダー（サーバー）の工事に対して分担作業を作成して、工事に対する作業を複数人が並行して行えるようにします。分担は武蔵データごとで行います。分担された作業を任意の一人が作業中のときは、他の人は作業できません。



**注意**

[電子納品ツール]は分担作業には対応していません。  
[施工計画書作成支援]を分担した場合は、分担先でのみ[施工計画書作成支援]のデータ作成・編集が可能です。  
[施工計画書作成支援]と[工程管理][原価工程管理][CO2排出量計算]との連携については、連携データがあるアプリケーションを両方同時に分担している場合は、連携が維持されますが、片方のみ分担している場合は、連携が解除されます。  
分担する[写真管理]の分類に関連付いている[出来形管理]の分類も分担されます。

## 2-1 分担作業を作成する

分担作業を作成します。操作例では、既存の写真管理の作業を分担します。



1 分担する工事を選択します。

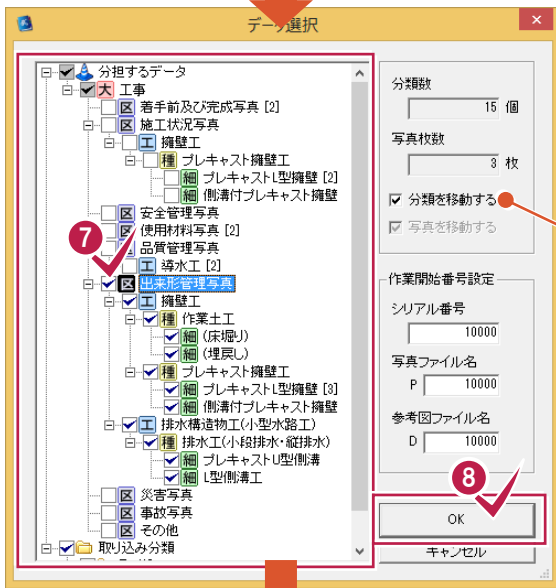
2 [分担作業]をクリックします。

3 [追加]をクリックします。

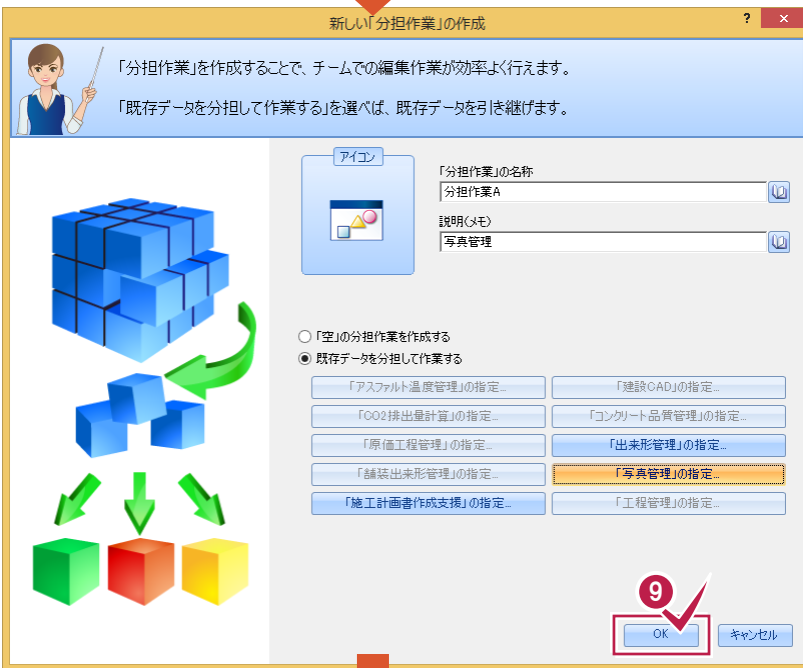




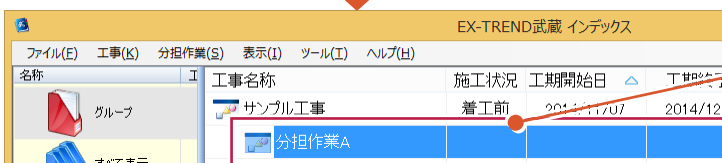
- 4 「分担作業」の名称、説明(メモ)を入力します。
- 5 操作例では写真管理の作業を分担するので、[既存データを分担して作業する]をクリックします。
- 6 [「写真管理」の指定]をクリックします。



- 7 分担するデータのチェックをオンにします。
  - 8 [OK]をクリックします。
- [分類を移動する]のチェックをオフにすると、分類ツリーを残すことができます。



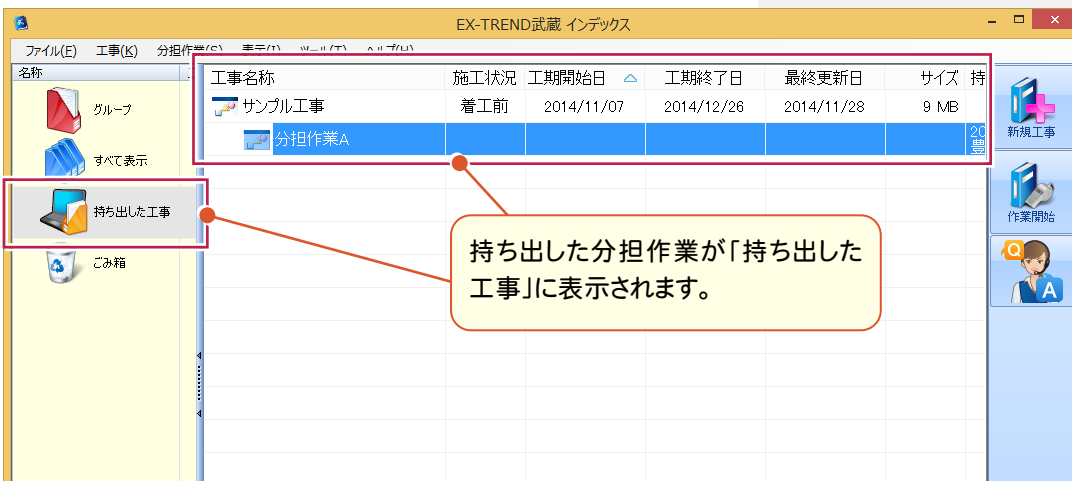
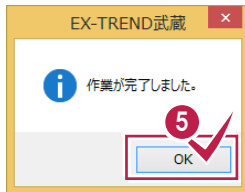
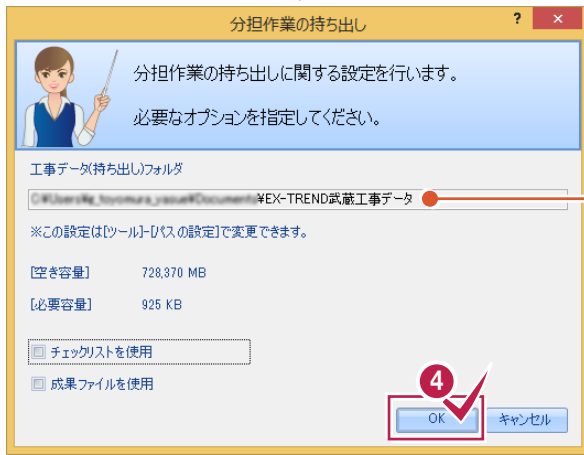
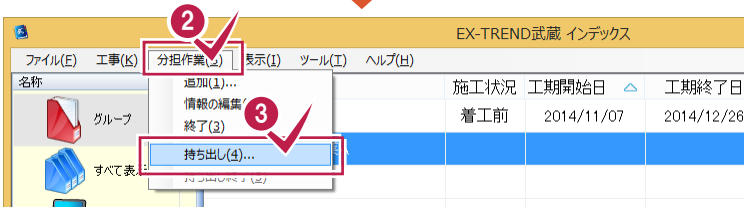
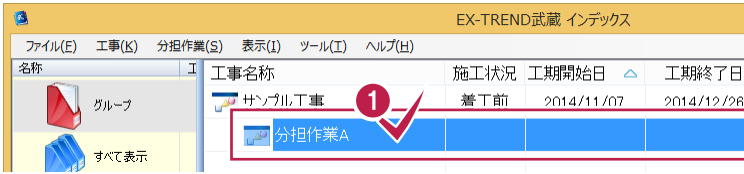
- 9 [OK]をクリックします。



分担作業が作成されます。

## 2-2 ネットワーク上の分担作業をローカルに持ち出す

ネットワーク上に保存されている分担作業データをローカルマシンにコピーして、営業所や現場などネットワークから切り離された環境でも作業を行うことができます。



1 持ち出す分担作業を選択します。

2 [分担作業]をクリックします。

3 [持ち出し]をクリックします。

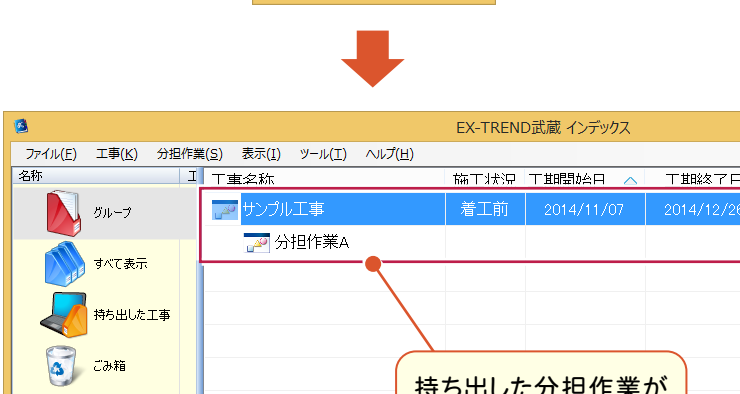
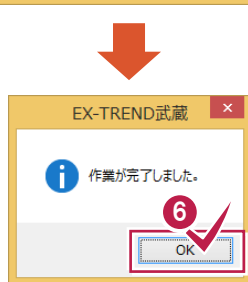
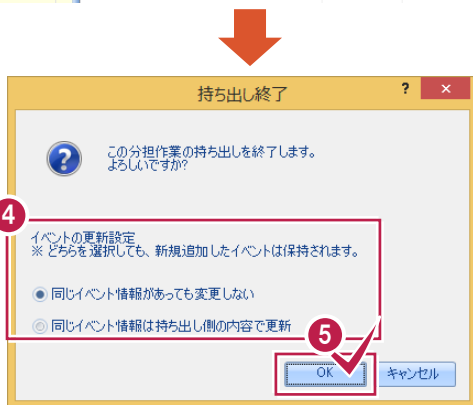
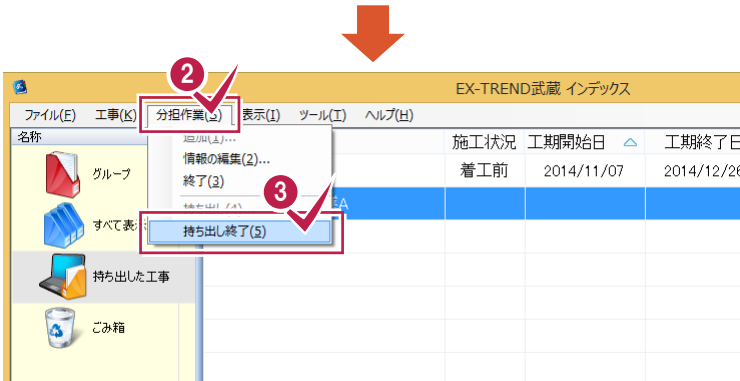
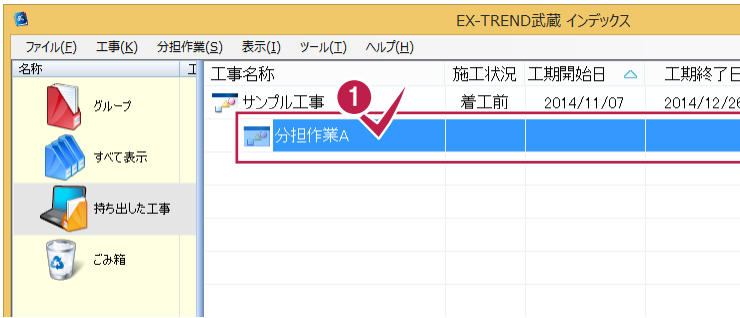
4 工事データ(持ち出し)フォルダー、空き容量、必要容量を確認して、[OK]をクリックします。

[ツール]—[パスの設定]コマンドで設定した[工事データ(持ち出し)]フォルダーにデータがコピーされます。

5 作業が完了すると確認のメッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。

## 2-3 持ち出した分担作業をネットワーク上に戻す

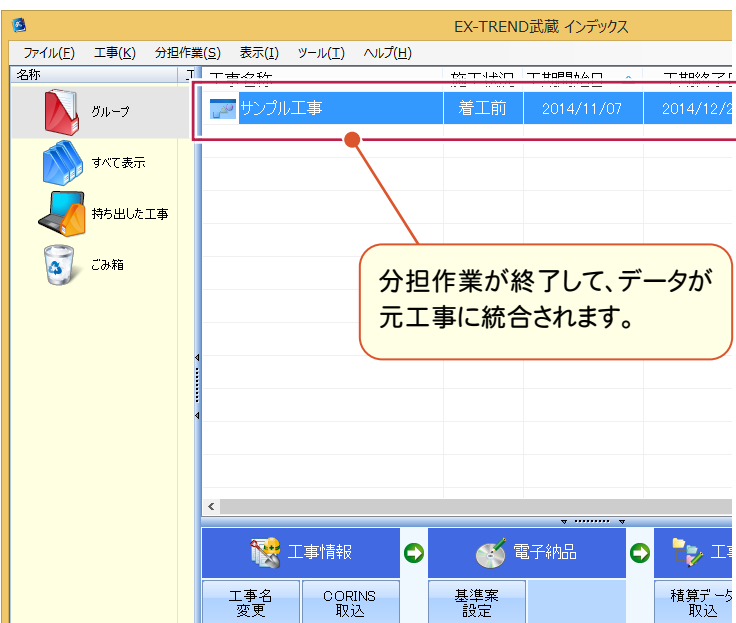
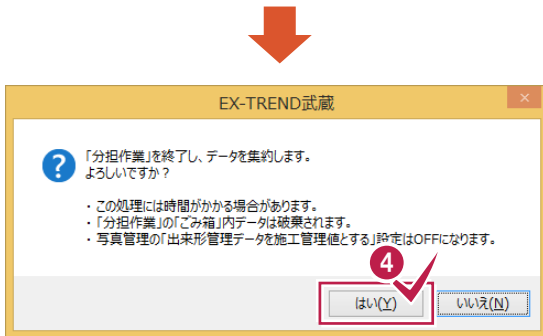
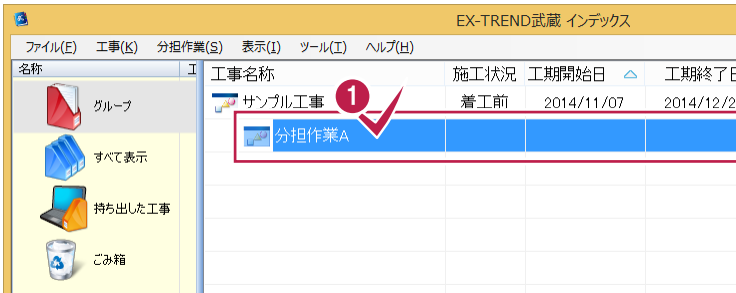
持ち出した分担作業をネットワーク上に戻します。



- 1 戻す分担作業を選択します。
- 2 [分担作業]をクリックします。
- 3 [持ち出し終了]をクリックします。
- 4 イベントの更新を選択します。
- 5 [OK]をクリックします。
- 6 作業が完了すると確認のメッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。

## 2-4 分担作業を終了して元工事に統合する

分担作業を終了して元工事に統合します。



1 終了する分担作業を選択します。

2 [分担作業]をクリックします。

3 [終了]をクリックします。

4 [[はい]をクリックします。

**注意**

分担作業を終了すると、[写真管理]の[出来形管理データを施工管理値とする]のチェックはオフになります。

同名の工種は以下のように統合されます。

- 関連付いている出来形が同じ場合はそのまま統合されます。
- 関連付いている出来形が異なる場合は関連付けが解除されます。
- 片方の出来形分類だけが関連付いている場合は、関連付けを引き継ぎます。

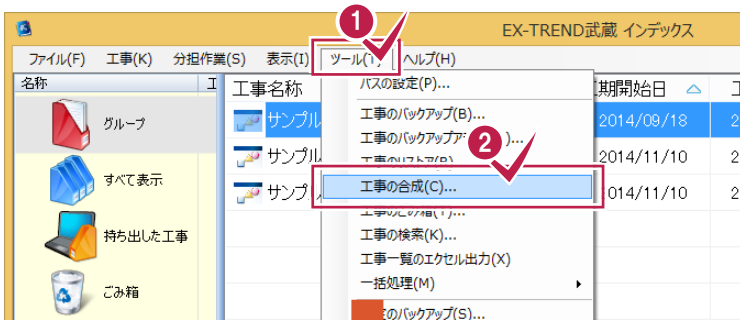
# 3 工事の合成

工事データを合成してみましょう。

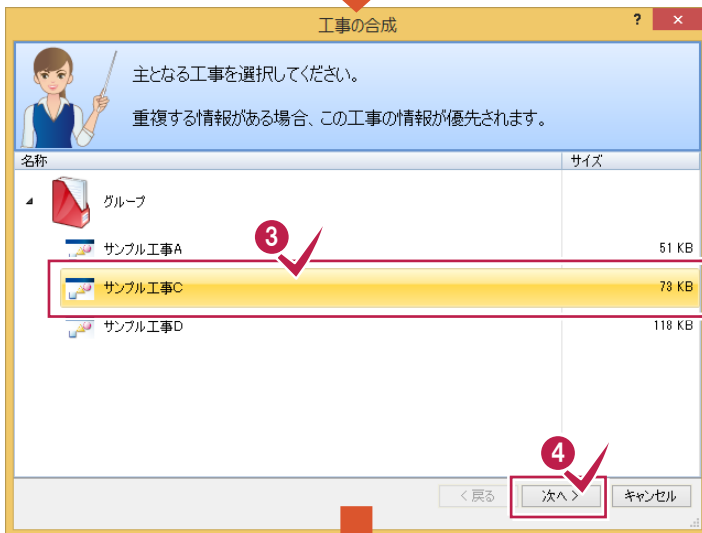
## 3-1 工事を合成する

**注意**

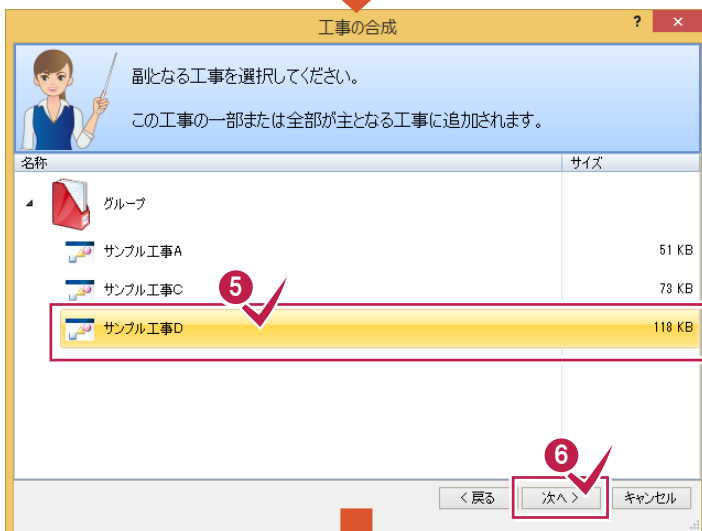
他ユーザーが使用中・分担作業中・持ち出し中は、合成できません。  
他ユーザーに確認して、分担作業・持ち出しを終了させてから、合成してください。



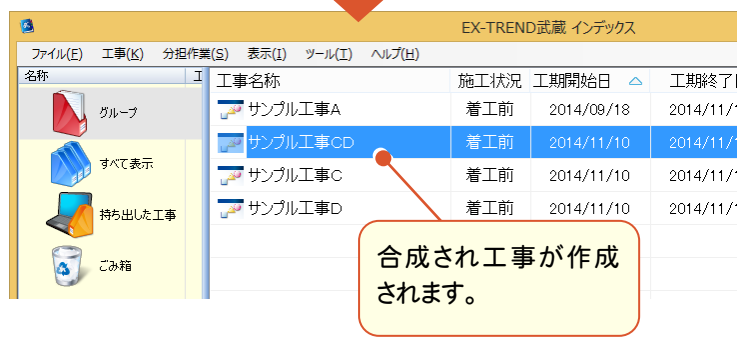
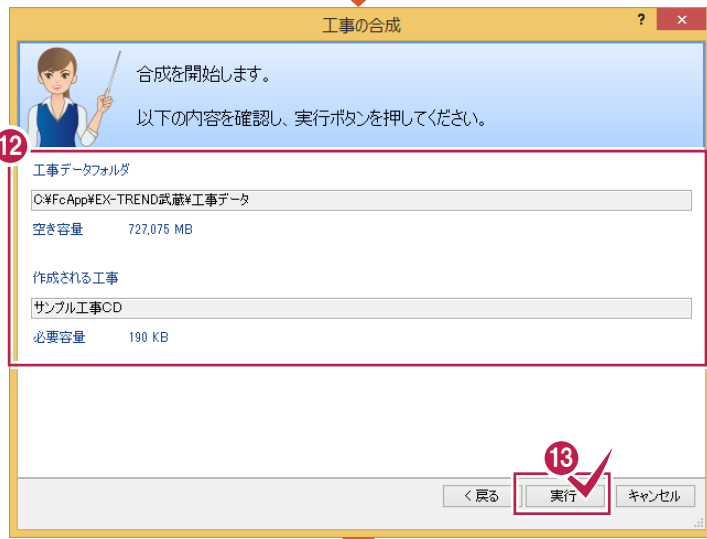
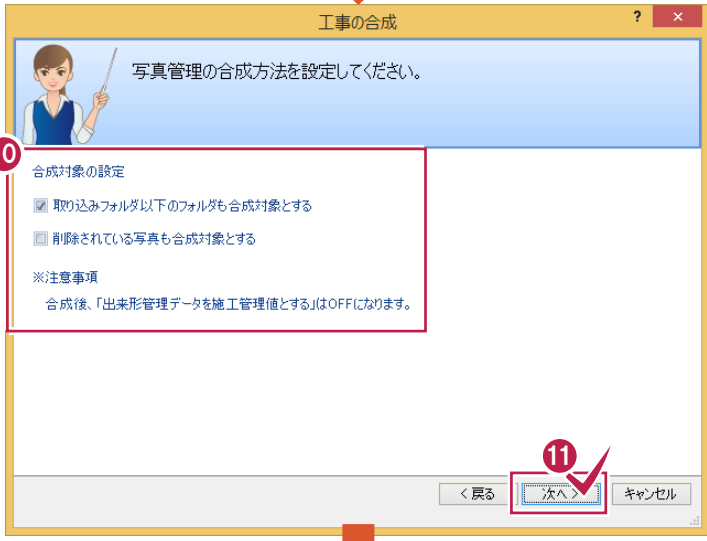
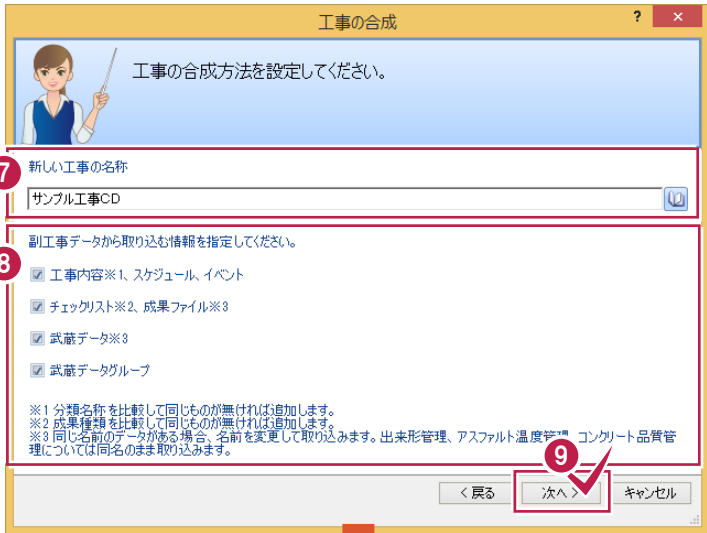
- 1 [ツール]をクリックします。
- 2 [工事の合成]をクリックします。



- 3 主となる工事を選択します。
- 4 [次へ]をクリックします。



- 5 副となる工事を選択します。
- 6 [次へ]をクリックします。



- 7 合成後の工事の名称を入力します。
- 8 副工事データから取り込む情報を設定します。
- 9 [次へ]をクリックします。
- 10 写真管理の合成方法を設定します。
- 11 [次へ]をクリックします。
- 12 工事データフォルダ、空き容量、作成される工事、必要容量を確認します。
- 13 [実行]をクリックします。

**注意** [写真管理]のデータの合成時には、[写真管理]の[出来形管理データを施工管理値とする]のチェックがオフになります。

同名の工種は以下のように統合されます。

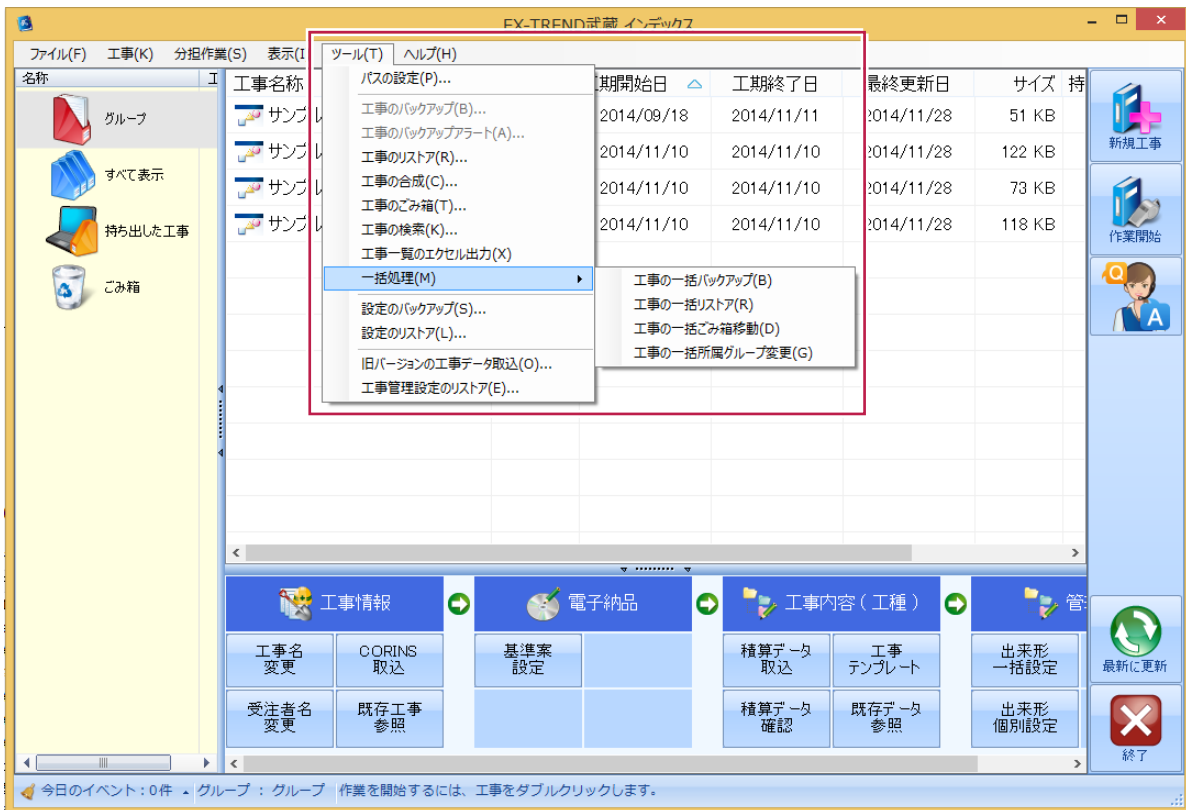
- 関連付いている出来形が同じ場合はそのまま統合されます。
- 関連付いている出来形が異なる場合は関連付けが解除されます。
- 片方の出来形分類だけが関連付いている場合は、関連付けを引き継ぎます。

# 4 バックアップ・リストア

バックアップ・リストアについて確認してみましょう。

## 4-1 バックアップの概要

EX-TREND武蔵 インデックスでデータを管理している場合には、バックアップはインデックスで行います。また、バックアップしたデータを戻す(リストア)場合もインデックスで行います。



**注意**

コンピュータも他の電化製品と同じように故障する場合があります。また、ちょっとしたミスでデータを削除してしまうこともあるかもしれません。

バックアップとは、保存されている現場や工事のデータファイル、および設定ファイルを別のメディア(HDD、CD、DVDなど)に保存することです。(CD/DVDには直接バックアップできません。いったんHDDの別の領域にバックアップしてから、ライティングソフトでコピーする必要があります。)ご使用中のコンピュータ内のHDDなどにバックアップを行ってもバックアップとはいえません。

お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。

万が一の不慮の事故による被害を最小限に止めるために、お客様御自身の管理・責任において、データは必ず定期的に2か所以上の別のメディア(HDD、CD、DVD)にバックアップとして保存してください。

また、いかなる事由においても、データ破損などのお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。

## 4-2 工事データをバックアップする

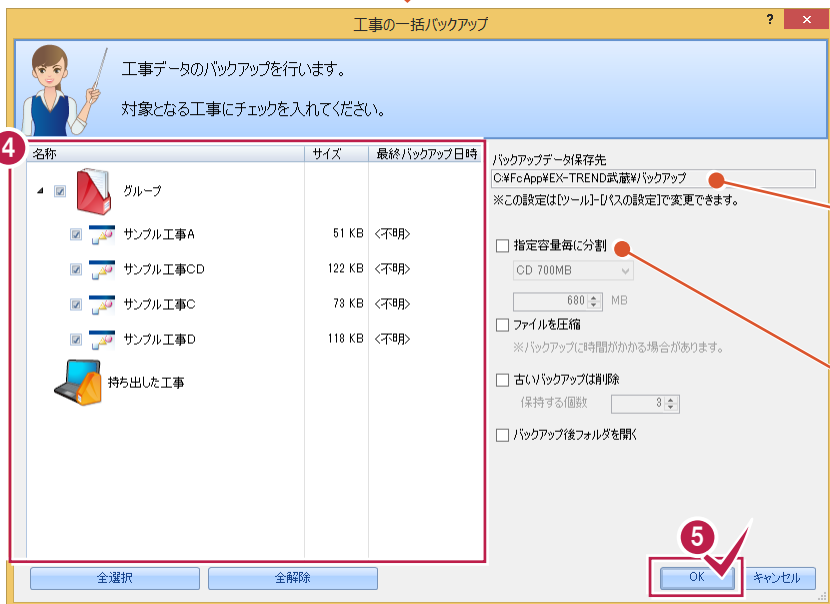
工事データをバックアップします。

**注意**

バックアップは[インデックス]以外のすべてのEX-TREND 武蔵の関連プログラムを終了してから行ってください。作業中の工事データをバックアップすることはできません。



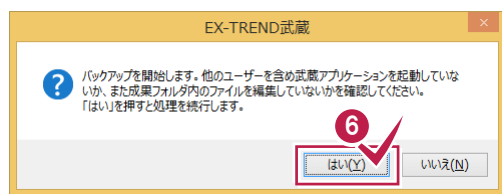
- 1 [ツール]をクリックします。
- 2 [一括処理]をクリックします。
- 3 [工事の一括バックアップ]をクリックします。



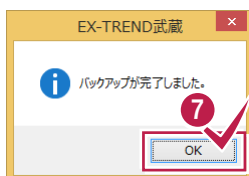
- 4 バックアップする工事のチェックをオンにします。
- 5 [OK]をクリックします。

作業しているハードディスク(HDD)とは別のHDDを選択することをお勧めします。

サーバー、外付HDDなどが無い場合、[指定容量毎に分割]のチェックをオンにしてCDに保存することをお勧めします。(バックアップ処理後市販のCDライターなどで書き込みしやすいように枚数別に分かれます。直接CDに保存することはできないので注意してください。)

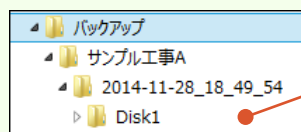


- 6 [はい]をクリックします。
- 7 処理が終了すると、確認のメッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。



**メモ**

バックアップの状態



バックアップ先のフォルダーは [バックアップデータ保存先] の下層の「工事名称」-「年月日時分秒」-「Disk1」になります。

※分割指定時は、「Disk2」「Disk3」・・・と作られます。

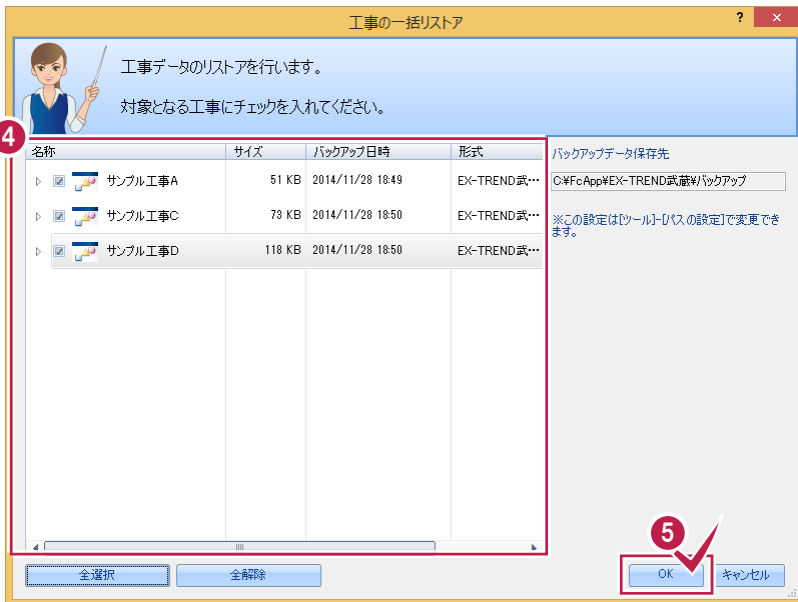


## 4-3 工事データをリストアする

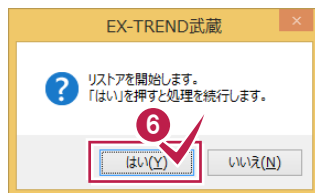
バックアップした工事データをリストア(復元)します。



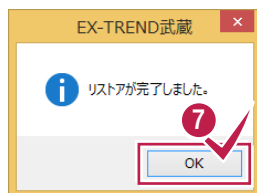
- 1 [ツール]をクリックします。
- 2 [一括処理]をクリックします。
- 3 [工事の一括リストア]をクリックします。



- 4 リストアする工事のチェックをオンにします。
- 5 [OK]をクリックします。



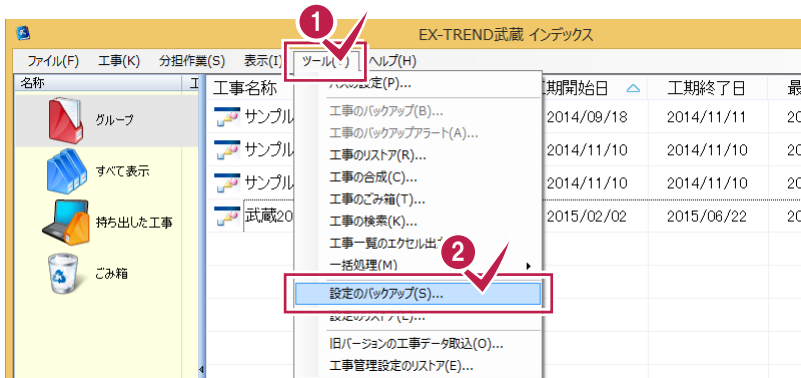
- 6 [はい]をクリックします。



- 7 処理が終了すると、確認のメッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。

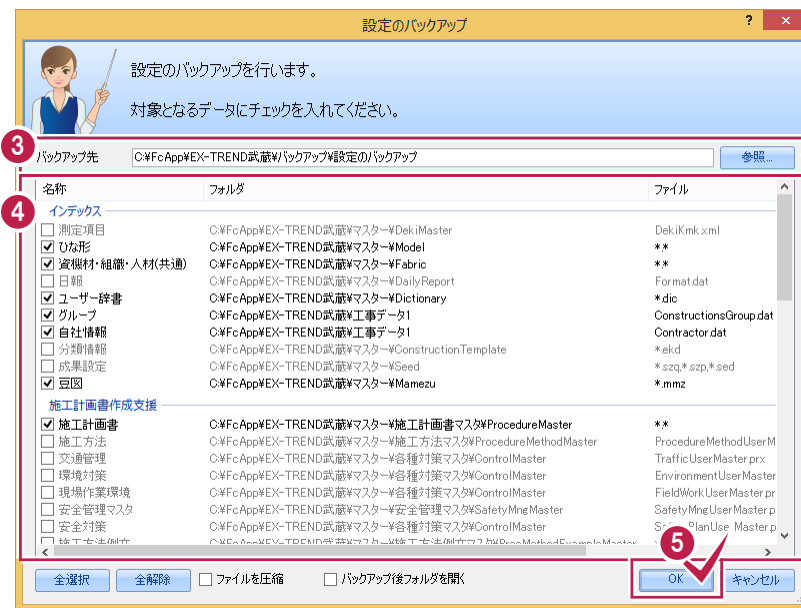
## 4-4 各種設定をバックアップする

EX-TREND武蔵シリーズで使用する共通設定、辞書などをバックアップします。



1 [ツール]をクリックします。

2 [設定のバックアップ]をクリックします。

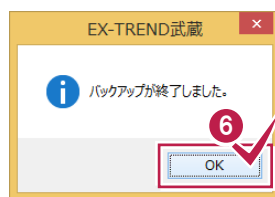


3 バックアップ先を設定します。

作業しているハードディスク(HDD)とは別のHDDを選択することをお勧めします。

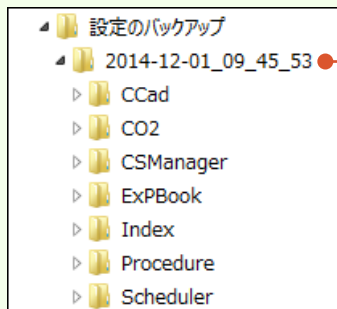
4 バックアップする設定のチェックをオンにします。

5 [OK]をクリックします。



6 処理が終了すると、確認のメッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。

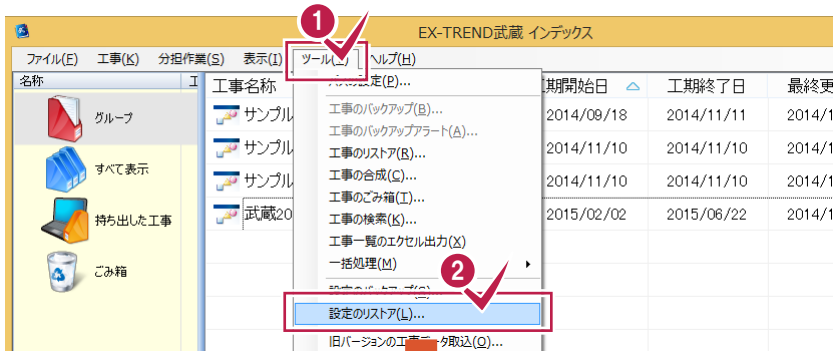
### メモ バックアップの状態



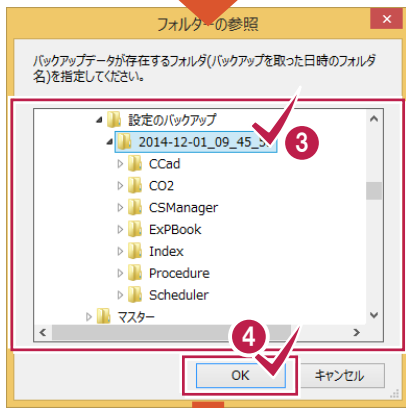
バックアップ先のフォルダーは「バックアップ先」の下層の「年月日時分秒」になります。

# 4-5 各種設定をリストアする

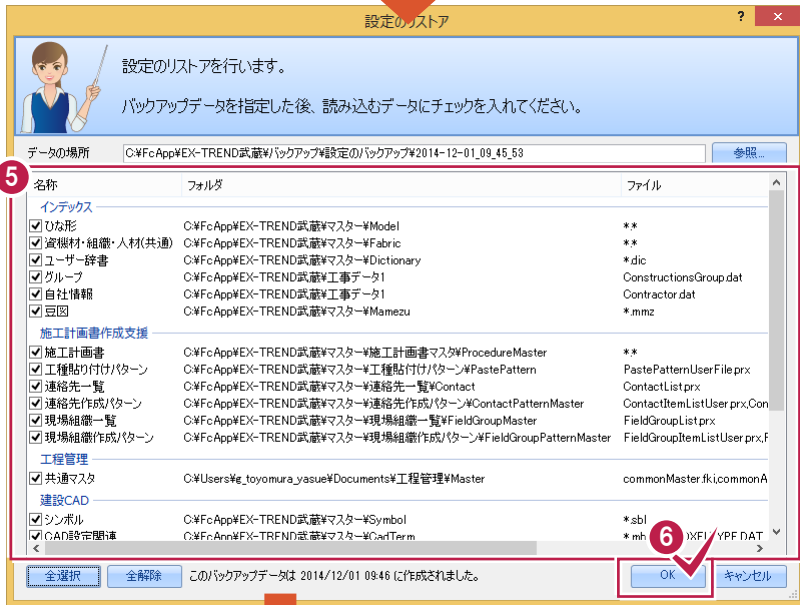
バックアップしたインデックスの設定関係ファイルをインデックスに復元します。



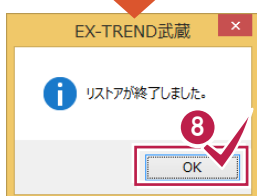
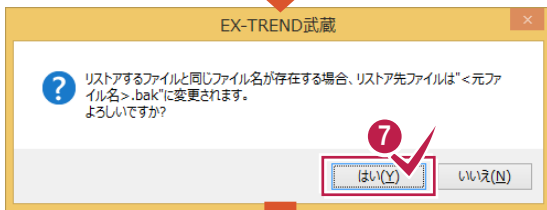
- 1 [ツール]をクリックします。
- 2 [設定のリストア]をクリックします。



- 3 バックアップした設定ファイルがあるフォルダーを指定します。
- 4 [OK]をクリックします。



- 5 リストアする設定のチェックをオンにします。
- 6 [OK]をクリックします。
- 7 リストア先に同名のファイルがある場合、確認メッセージが表示されます。リストア先ファイル名の最後に「.bak」を付けるときは[はい]、リストア先を変更する場合は[いいえ]をクリックします。
- 8 処理を終了すると、確認のメッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。



**メモ** 施工計画書作成支援の設定をリストアした場合は、[施工計画書作成支援]を起動後に、マスタ更新の確認メッセージが表示されます。

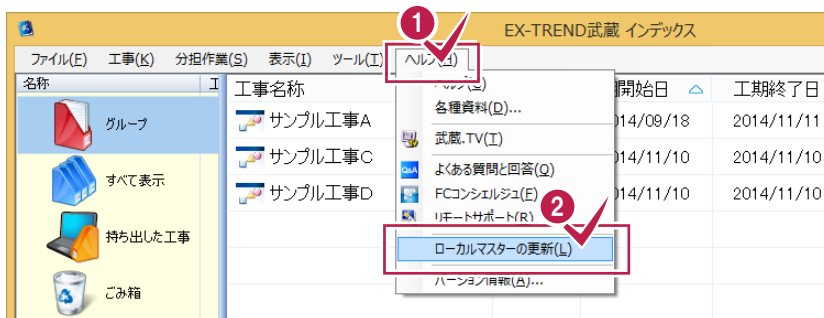
This screenshot shows a message dialog box titled '施工計画書作成支援' with the text: 'インデックスからリストアされたユーザマスタデータが見つかりました。ユーザマスタの合成を行いますか?' (User master data restored from the index was found. Do you want to merge the user master data?). The 'はい(Y)' button is highlighted.

# 5 ローカルマスター

ローカルマスターの更新を確認してみましょう。

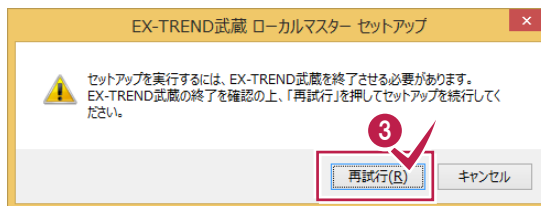
## 5-1 ローカルマスターを更新する

EX-TREND武蔵 で使用する各省庁/地域のローカルマスターは、インデックスの[ヘルプ]-[ローカルマスターの更新]で、新規インストール・更新インストール、またはアンインストールします。インターネットに接続して、弊社のサーバーから最新のローカルマスターに更新します。

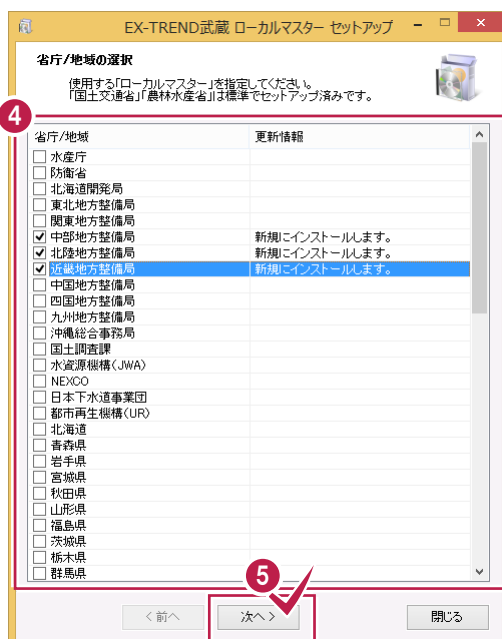


1 [ヘルプ]をクリックします。

2 [ローカルマスターの更新]をクリックします。



3 インデックスを含む武蔵シリーズのアプリケーションをすべて終了させてから、[再試行]をクリックします。



4 使用するローカルマスターのチェックをオンにします。

5 [次へ]をクリックします。



6 [開始]をクリックします。

7 [閉じる]をクリックします。

メモ

下記のローカルマスターがインストールされます。

- 豆図
- 工事テンプレート、層マスタ
- 各種帳票フォーム
- 表題欄
- 施工計画書雑形マスタ
- 管理項目設定ファイル
- 施工計画書品質管理基準マスタ
- CAD製図基準テンプレート
- CDラベル/媒体書/納品チェック設定